

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	コンピューター概論			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	CPI	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	大津 崇	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	コンピュータの基本的な動作を理解した上でプログラミングの基礎知識を学ぶ				
到達目標	・コンピュータの機能構成とCPUの役割を理解する ・コンピュータと周辺装置の役割を知り、動作制御の方式を学ぶ ・機械語を理解して、プログラミンの本質を知る ・DFD、チャート、グラフの表記方式を知り、プログラミングの表現方法を学ぶ				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	チュートリアル	コンピュータの定義と動き CPUの役割		
	2	2進数と16進数	2進数／16進数の定義 四則演算と論理演算		
	3	小数	浮動小数点の定義		
	4	メモリとディスク	メモリとディスクの構造 メモリとディスクの関係		
	5	小テスト1	No.2～4のまとめ		
	6	データ圧縮	可逆圧縮と非可逆圧縮 ハフマン符号		
	7	プログラムの実行環境	OSとハードウェア java環境、仮想環境		
	8	コンパイル	ソースコードと実行可能ファイル DLLとインポートライブラリ		
	9	小テスト2	No.6～8のまとめ		
	10	OSとアプリケーション	OSの歴史 Windowsの特徴		
	11	アセンブリ言語	ネイティブコード プログラムの構造化		
	12	ハードウェアの制御	周辺装置、割込み制御 DMA制御		
	13	小テスト3	No.10～12のまとめ		
	14	機械学習	機械学習と応用技術 コンピュータ科学とAIの歴史		
	15	まとめテスト	全体授業のまとめ		
テキスト	矢沢久雄, (2022).『コンピュータはなぜ動くのか 第2版 知っておきたいハードウェア＆ソフトウェアの基礎知識』日経BP.				
参考書	特になし				
評価基準	◎ 期末テストー期末試験による総合評価(60%) ◎ 平常評価ー小テストと出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	システム開発概論			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	SDI	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	大津 崇	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	情報社会におけるシステム開発の位置づけと歴史を知り、具体的な開発の進め方を理解する。 この過程を通じて、次世代のシステム開発に対する知恵とヒントを講義と議論から見出す。				
到達目標	・システム開発に係る発注者と受注者のあり方と仕事の分担を知る ・開発の工程と成果物を理解し、有用な書類のあり方を理解する ・ビジネスとしてのシステム開発の視点から契約行為について理解する ・システムの改定について議論できるような基礎知識を学ぶ				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	チュートリアル	システムとは何か システム開発の全体像		
	2	開発に係る組織と人	開発に係る企業と自社開発 システム開発に係る職種		
	3	開発にかかるコスト	工数の考え方 見積もりの方法		
	4	工程の概要と要点	システムの内容を決める方法 システムの内容を表現する方法		
	5	発注者と受注者	発注者の役割と仕事の内容 受注者の役割と仕事の内容		
	6	開発モデル	ウォーターフォールとスパイラル アジャイル		
	7	設計工程	基本設計、機能設計 外部設計と内部設計、考え方と表現方法		
	8	実装工程	プログラミング言語の選択 フレームワークの考え方		
	9	開発環境と本番環境	開発、実装、本番環境の違い 環境構築のトレンド		
	10	コーディングの要点	プログラムの品質 規約の必要性和実践		
	11	プログラムテスト	単体テスト 結合テスト		
	12	システムテスト	テスト仕様の考え方 受入テスト		
	13	納品と検収	発注者の検収行為 検収の可否とその後の対応		
	14	運用と保守	運用に必要な行為と組織 リニューアルへのアプローチ		
	15	まとめテスト	全体授業のまとめ		
テキスト	増井敏克, (2023). 『1週間でシステム開発の基礎が学べる本』インプレス.				
参考書	特になし				
評価基準	◎ 期末テストー 期末試験による総合評価(60%) ◎ 平常評価ー 小テストと出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	マイクロソフトオフィス(VBA含む)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	MSV	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	大津 崇	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	この授業では、Excelを使った実務処理の効率化を目的に、VBA(Visual Basic for Applications)によるマクロ作成を中心に学ぶ。業務でよく使う作業を自動化するツールを、自らの手で設計・開発する力を養う。演習・課題を通じて「書ける・直せる・読める」スキルを習得する。				
到達目標	VBAを使ってExcel操作を自動化するプログラムを自分で作成できる 変数、条件分岐、繰り返し処理など基本的な構文を理解し使いこなせる ユーザーフォームや関数を使った簡単な業務アプリケーションを開発できる エラー処理・コード整理を通して、実務で使える品質を意識できる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション・Excelマクロ入門□	VBAとは／マクロの記録と再生／VBEの使い方		
	2	VBAの基本構文①□	Subプロシージャ／コメント／MsgBox／変数の宣言と代入		
	3	VBAの基本構文②□	If文／Select Case／論理演算子による条件分岐		
	4	VBAの繰り返し処理□	For Next／Do While／Do Until／ネストとループ制御		
	5	セルと範囲の操作①□	Range／Cells／値の取得・設定／複数セルの処理		
	6	セルと範囲の操作②□	行列の挿入削除／色やフォントの変更／条件付き処理		
	7	ワークシート・ブックの制御□	シートの追加・削除・切り替え／ブック操作／保存処理		
	8	ユーザー入力と対話処理□	InputBox／ユーザーフォームの基本構築／テキストボックスとボタン		
	9	イベントプロシージャとトリガー制御□	ワークシートイベント／ボタンクリック処理／簡単なアプリ動作設計		
	10	配列とデータ処理□	配列の宣言・代入／ループでの活用／データの一括処理		
	11	実務課題①:リスト作成と整形□	名簿データの自動入力・並び替え・色分けマクロの作成		
	12	実務課題②:売上管理ツール作成□	売上入力→集計→グラフ出力の自動化ツール演習		
	13	エラー処理とデバッグ□	On Error構文／ステップ実行／ブレークポイント／デバッグ印刷		
	14	最終課題制作・応用実装□	各自のテーマでミニ業務ツールを作成(例:請求書自動生成、出席簿管理)		
	15	最終発表・コード解説・講評□	発表(5～10分)＋コードレビュー・授業の振り返りとまとめ		
テキスト	国本温子; 緑川吉行, (2022). 『できる逆引き Excel VBAを極める勝ちワザ716 2021/2019/2016&Microsoft 365対応』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末制作 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	システム構築演習(JAVA)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	JVS	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	大津 崇	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	ウォーターフォールモデルに準じたWebアプリ開発の基本を習得する 卒業研究テーマに沿った開発環境を整備する python、django を活用してWebアプリの開発方法を学ぶ springboot5との連携を活用してviewの制作方法を学ぶ 設計の基本とMVCモデルの実際を習得する				
到達目標	・Djangoのインストールと活用 ・bootstrap5の導入 ・DB(SQLite)の理解と応用 ・システム要求書の作成				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	チュートリアル	授業の目的と進め方／進捗報告書の導入		
	2	システム構築環境整備(1)	djangoの導入、簡単なアプリケーションの作成		
	3	システム構築環境整備(2)	モデル(DB)の位置づけ、操作		
	4	入門アプリケーション制作(1)	投票アプリの制作		
	5	入門アプリケーション制作(2)	管理ページの機能実装		
	6	入門アプリケーション制作(3)	プロジェクトのまとめ		
	7	springboot5導入(1)	日記アプリケーション制作(1)		
	8	springboot5導入(2)	日記アプリケーション制作(2)		
	9	卒研制作準備(1)	基本設計書の作成(1)		
	10	卒研制作準備(2)	基本設計書の作成(2)		
	11	卒研制作準備(3)	開発環境整備		
	12	卒研制作準備(4)	システム設計書の作成(1)		
	13	卒研制作準備(5)	システム設計書の作成(2)		
	14	卒研制作準備(6)	ソフトウェア設計書の作成(1)		
	15	卒研制作準備(7)	ソフトウェア設計書の作成(2)		
テキスト	指定なし				
参考書	特になし				
評価基準	1.演習課題(60%) 2.出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	システム構築演習(JAVA)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	JVS	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	大津 崇	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	前期で学んだWebアプリの開発方法を活用して、各自の制作テーマを実装する プロトタイピング方式で、作りながら改善を繰り返す WBSの運用を学ぶ				
到達目標	各自テーマの実装完成を目指す				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	制作計画(1)	テーマ選定と制作計画(WBS)		
	2	制作(1－1)	初期設計		
	3	制作(1－2)	実装(1－1)		
	4	制作(1－3)	実装(1－2)		
	5	制作計画(2)	制作物の評価と再計画		
	6	制作(2－1)	設計見直し1		
	7	制作(2－2)	実装(2－1)		
	8	制作(2－3)	実装(2－2)		
	9	制作計画(3)	制作物の再評価と再々計画		
	10	制作(3－1)	設計見直し2		
	11	制作(3－2)	実装(3－1)		
	12	制作(3－3)	実装(3－2)		
	13	制作結果評価	制作物の最終評価		
	14	制作見直し(1)	運用評価のまとめ		
	15	制作見直し(2)	考察まとめ		
テキスト	指定なし				
参考書	特になし				
評価基準	1.演習課題(60%) 2.出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本の会社・職業構造(前期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	JO1	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	古望 高芳	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	外国人留学生が日本の産業と企業の仕組みを深く理解し、日本企業での就職やキャリア形成に活かせる知識とスキルを習得することを目的とする。				
到達目標	①日本の産業を理解する:日本の主要な産業と経済の仕組みがわかる。 ②日本企業の働き方を知る:日本の会社のルールや文化を理解できる。 ③日本での就職活動に対応できる:履歴書や面接の準備ができる。 ④デジタル化・グローバル化に対応する:日本企業の変化を知り、働くための準備ができる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス	・授業の目的と進め方の説明 ・日本の産業・企業構造の概要 ・日本企業の特徴と外国人留学生に求められるスキル		
	2	日本の主要産業	・製造業(自動車、電機、ロボットなど) ・サービス業(観光、金融、ITなど) ・産業の強みと課題		
	3	日本企業の組織構造	・日本企業の階層構造と部門 ・企業文化(年功序列、終身雇用、企業理念) ・外国企業との違い		
	4	日本の労働市場と雇用形態	・正社員・契約社員・派遣社員・アルバイトの違い ・労働法と働き方改革 ・外国人雇用の現状		
	5	企業の採用プロセス	・日本の就職活動の流れ(エントリーシート、面接、内定) ・外国人留学生向けの就職支援制度 ・履歴書・職務経歴書の書き方		
	6	日本の企業文化と職場のマナー	・ビジネスマナー(敬語、名刺交換、服装) ・企業内コミュニケーション ・日本特有の仕事の進め方(ホウレンソウ)		
	7	日本の企業における人事制度	・昇進・昇格制度 ・福利厚生と労働条件 ・企業研修とキャリアパス		
	8	日本の経済構造と企業の役割	・日本経済の特徴と変遷 ・中小企業と大企業の違い ・産業政策と政府の支援		
	9	外国人留学生の就職成功事例	・先輩留学生の就職成功例 ・企業が求める外国人材のスキル ・日本企業で働くためのポイント		
	10	イノベーションと日本企業	・研究開発と技術革新 ・スタートアップと起業支援 ・外国人の起業チャンス		
	11	日本企業のグローバル展開	・日本企業の海外進出の現状 ・海外で活躍する日本企業の事例 ・グローバル人材としてのキャリアパス		
	12	デジタル化と日本企業	・DX(デジタルトランスフォーメーション)とは ・AI・IoT・ビッグデータの活用 ・日本企業のDXの現状と課題		
	13	日本の労働環境とワークライフバランス	・労働時間と働き方改革 ・テレワークとフレックスタイム ・日本での生活と仕事のバランス		
	14	ケーススタディ(グループワーク)	・日本企業の成功例・失敗例を分析 ・留学生向けのキャリアプラン作成 ・実際の企業事例をもとにディスカッション		
	15	総復習とキャリア相談	・授業のまとめと重要ポイントの復習 ・日本企業への就職戦略 ・企業訪問・インターンシップの準備		
テキスト	加賀博,(2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本の会社・職業構造(後期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	JO2	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	古望 高芳	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	外国人留学生が「日本の職業・就労構造」を正しく理解し、日本企業への就職活動や職場での適応に困らないようにすることを目的とする。				
到達目標	①日本の産業と雇用の仕組みを理解する:日本の主要な産業や働き方の特徴を説明できる。 ②日本企業の働き方や文化を知る:企業のルールやビジネスマナーを理解し、適切に行動できる。 ③日本の就職活動に対応できる:履歴書や面接の準備ができ、効果的に自己PRできる。 ④日本でのキャリアプランを考えられる:日本企業での働き方を理解し、自分に合った仕事を選べる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス:日本の職業・就労構造の全体像	授業の目的、進め方、日本の産業・労働市場の概要		
	2	日本の主要産業と経済	日本の製造業、サービス業、IT業界の特徴と動向		
	3	日本企業の雇用形態と働き方	正社員・契約社員・派遣社員の違い、労働市場の特性		
	4	日本の企業文化と職場のルール	年功序列、終身雇用の変化、ホウレンソウ(報告・連絡・相談)		
	5	日本の就職活動の流れ	エントリーシート、SPI試験、面接のポイント		
	6	日本の給与体系と福利厚生	初任給、賞与、社会保険、退職金制度		
	7	働く上での法律と労働者の権利	労働基準法、労働契約、ハラスメント防止策		
	8	日本企業のデジタル化と働き方改革	DX(デジタル・トランスフォーメーション)とテレワークの現状		
	9	日本企業のキャリアパスと昇進制度	人事評価、研修制度、管理職への道		
	10	日本の職場コミュニケーション	ビジネスマナー、メール・会議のルール		
	11	外国人労働者の受け入れ制度	技能実習生・特定技能・高度外国人材ビザ		
	12	日本の職場での課題と解決策	外国人社員の悩みと対応策、日本人との協働のポイント		
	13	日本のビジネス習慣と国際比較	自国と日本の働き方・商習慣の違い		
	14	実践的な就職活動対策	模擬面接、自己PRの作成、履歴書の添削		
	15	まとめと今後のキャリアプラン口	日本での長期的なキャリア形成、質疑応答		
テキスト	加賀博,(2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本の経済・産業構造(前期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	J11	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	加賀 博	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	前期では、日本の産業を支える基幹業種(エネルギー、輸送、製造、流通など)の構造と役割について学習する。業種ごとの特性、企業の役割、流通の仕組みなどを理解し、業界研究の基礎を築く。経済新聞や業界ニュースを活用し、自らの関心に基づいた発表やまとめを行う。				
到達目標	日本の主要産業と業界構造を基礎から理解する 業種ごとの特徴・役割・課題を的確に説明できるようになる 自分の将来の進路(職業)に関連する業界を調査・発表できる 社会の動きに関心を持ち、経済ニュースを読み解く力を養う				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	日本経済と社会インフラ□	石油・電力業界の構造と役割、社会基盤との関係		
	2	建設・不動産・輸送□	プラント、住宅、鉄道、陸運業界の特徴と影響		
	3	輸送と通信のグローバル化□	航空、海運、物流、通信・ネット業界の連携		
	4	基礎産業とIT融合□	IT、ソフトウェア、非鉄金属、化学、セメント等の役割		
	5	製造業の多様性□	タイヤ・紙・繊維・家電・OA機器の業界特性		
	6	機械・自動車・化粧品□	工作機械、造船、重機、化粧品業界の展開		
	7	流通・小売の進化□	食品・飲料・製薬・スーパー・コンビニの流通構造		
	8	小売・生活密着型サービス□	アパレル・量販店・通信販売業界の変化		
	9	観光・外食業界□	フードサービス、旅行、レジャー、ホテル業界の回復と課題		
	10	情報産業と大衆文化□	マスコミ、出版、放送、広告産業の仕組み		
	11	教育と中間流通□	印刷業、商社、教育サービス業の構造		
	12	人材・知識産業□	コンサル、ゲーム、人材紹介業のビジネスモデル		
	13	金融業界の構造①□	銀行、証券、保険、クレジットの基本構造		
	14	金融業界の構造②と政治制度□	消費者金融、リース業／三権分立と政策制度		
	15	授業まとめ・中間発表□	興味ある業界をまとめて発表(個人またはグループ)		
テキスト	加賀博, (2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本の経済・産業構造(後期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	JI2	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	加賀 博	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	後期では、現代社会の変化(デジタル化、高齢化、働き方の多様化、グローバル化)に対応する新興産業や政策との関わりについて深く学ぶ。SDGs、スタートアップ、地方創生、エネルギー転換、国際経済など幅広いテーマを扱いながら、就職や進路選択に必要な応用的な業界分析力を育成する。				
到達目標	新興産業や社会課題と結びついた産業構造を理解する 技術革新・国際情勢・政策と産業との関係を説明できる 自分の希望進路に合った業界を調査し、将来像を言語化できる 実社会と産業構造のつながりを意識し、自己のキャリアに活用する力を身につける				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	後期ガイダンス／前期復習□	経済用語確認と業界研究の進め方		
	2	環境・再生可能エネルギー産業□	エネルギー転換と地球温暖化対策との関連性		
	3	地方創生と中小企業□	地域産業・地場企業の特性と就職可能性		
	4	新興技術(AI・ロボット・IoT)□	DXと産業構造の変化、技術革新による雇用影響		
	5	グローバル企業の戦略□	トヨタ、ソニーなど日系企業の海外展開分析		
	6	日本の農林水産業□	食料自給率、6次産業化、輸出ビジネス		
	7	メディカル・介護・福祉産業□	少子高齢化による産業需要と人材不足の現実		
	8	労働市場と働き方改革□	外国人労働者、非正規雇用、リスクリングなど		
	9	女性活躍とジェンダー課題□	管理職登用、育休制度、ジェンダー平等政策		
	10	観光・インバウンドの未来□	地域経済との関係／アフターコロナ戦略		
	11	日本のベンチャー企業とスタートアップ	成長産業への投資と若者起業支援制度		
	12	SDGsと企業の社会的責任□	環境配慮・ESG投資・サステナビリティ経営		
	13	国際経済と貿易協定□	TPP、EPA、WTOなどと日本産業のつながり		
	14	自分の将来と業界との関係分析□	希望職種に合う業界を選定し、調査レポート作成		
	15	最終発表・レポート提出□	調査発表・質疑応答・授業振り返り		
テキスト	加賀博, (2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	WEBアプリ開発基礎			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	WDB	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	椎名 將之	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	HTML、CSSの基本的な知識を修得することで、WEBアプリ開発のための準備を行う。				
到達目標	HTML5とCSS3による、実践的なWebデザインのスキルの習得。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	授業の進め方などの説明 Webサイト制作の基礎知識			
	2	HTMLの基礎知識、代表的な要素			
	3	テキストレベルの要素			
	4	セクショニング、リンク			
	5	メディア			
	6	CSSの基礎知識			
	7	CSSの優先順位、リセット			
	8	文字のデザイン			
	9	リスト、背景のデザイン			
	10	コンテンツモデル、ボックスのデザイン			
	11	floatプロパティによる配置			
	12	positionプロパティによる配置			
	13	CSS3によるデザイン			
	14	さまざまなセクタ、テーブル			
	15	フォームのデザイン			
テキスト	田中賢一郎, (2022).『ゲームで学ぶJavaScript入門 増補改訂版～ブラウザゲームづくりでHTML & CSSも身につく! 』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	WEBアプリ開発演習(前期)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	WE1	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	椎名 將之	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	Javascriptがページに対してどのような働きを持つか理解しその基礎を学習する。□				
到達目標	Webについての理解を深め、Webアプリケーション開発に必要な一連の技術を身に付ける。□				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	Javascriptとは			
	2	変数、演算、条件分岐、繰り返し			
	3	変数、演算、条件分岐、繰り返し			
	4	変数、演算、条件分岐、繰り返し			
	5	変数、演算、条件分岐、繰り返し			
	6	変数、演算、条件分岐、繰り返し			
	7	関数			
	8	関数			
	9	関数			
	10	配列とオブジェクト			
	11	配列とオブジェクト			
	12	配列とオブジェクト			
	13	クラス			
	14	クラス			
	15	クラス			
テキスト	田中賢一郎, (2022).『ゲームで学ぶJavaScript入門 増補改訂版～ブラウザゲームづくりでHTML & CSSも身につく! 』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末制作物 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	WEBアプリ開発演習(後期)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	WE2	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	椎名 將之	授業方式	演習	時間数	90
授業概要	Google ドライブやGoogle スプレッドシートなど、日常生活でよく使うツールを自動操作する便利なスクリプトの作成を通じて、プログラミングの基礎知識と実践的なスキルを修得する。□				
到達目標	WebスクレイピングやAPI、グラフ作成、外部サービスとの連携など、データ活用を中心とした実務で活用できるスキルについて学ぶことでWEBアプリを開発する。□				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	Google Apps Script(GAS)について			
	2	Google Spreadsheetについて			
	3	スプレッドシートとGASスプレッドシートのデータの取得と書き込み			
	4	スプレッドシートとGAS② 状況に合わせた様々なメール送信			
	5	スプレッドシートとGAS③ スプレッドシートから複数の値を取得する			
	6	スプレッドシートとGAS④ 一斉メール送信			
	7	スプレッドシートとGAS⑤ メール送信完了処理			
	8	Webスクレイピングとライブラリ			
	9	ユーザインタフェース			
	10	ユーザインタフェース			
	11	オリジナルアプリケーション制作(1)	これまでに学修したJavaScriptプログラミング知識を用いてWebアプリケーションを開発する		
	12	オリジナルアプリケーション制作(2)	これまでに学修したJavaScriptプログラミング知識を用いてWebアプリケーションを開発する		
	13	オリジナルアプリケーション制作(3)	これまでに学修したJavaScriptプログラミング知識を用いてWebアプリケーションを開発する		
	14	オリジナルアプリケーション制作(4)	これまでに学修したJavaScriptプログラミング知識を用いてWebアプリケーションを開発する		
	15	オリジナルアプリケーション制作(5)	これまでに学修したJavaScriptプログラミング知識を用いてWebアプリケーションを開発する		
テキスト	田中賢一郎, (2022).『ゲームで学ぶJavaScript入門 増補改訂版～ブラウザゲームづくりでHTML & CSSも身につく! 』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末制作物 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	プログラミング言語基礎			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	PLB	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	藤井 文一郎	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	Java言語を中心として、C言語、Javascript、Pythonと比較しながらプログラム言語の基本表現方法について学習することにより一般的なプログラミングの知識を深め、アルゴリズムやアプリケーションへの知識的発展をもたらす材料とする。				
到達目標	プログラムの基本である、シーケンス実行、条件分岐、繰り返しを先ずJavaで学習し、多言語での表現を見ながら一般的なプログラム記法を習得する。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス	授業目標と今後の進め方		
	2	環境の導入	Javaの開発環境のセットアップ		
	3	プログラム書式、変数、データ型	プログラム書式、変数の考え方、データ型について説明		
	4	式と演算子と条件式	Javaで用意されている演算子について説明と演算子を用いた様々な式の表現 条件式 (if文)を用いた分岐 条件式 (switch文)を用いた分岐と論理演算子		
	5	まとめ(小テスト)①	これまでの内容をまとめ 小テストを行う		
	6	ループ処理	for文用いた繰り返し処理 while文用いた繰り返し処理 do文用いた繰り返し処理		
	7	配列とコレクション	1次元配列の使い方とその応用 2次元配列の使い方とその応用 Collection、List、Mapについて		
	8	文字列	Character、String、StringBufferについて		
	9	まとめ(小テスト)②	これまでの内容をまとめ 小テストを行う		
	10	クラスの応用①	クラス概要 クラスの宣言、修飾子について		
	11	クラスの応用②	クラスの継承について説明		
	12	クラスの応用③	クラスからインスタンスを生成する方法、インスタンスの状態について メンバ変数とローカル変数の違い、メンバ変数宣言時に付与できる修飾子について		
	13	クラスの応用④	メソッドの宣言方法、メソッド宣言時に付与できる修飾子について コンストラクタの概要、宣言方法、コンストラクタを複数宣言する方法につて		
	14	クラスの応用⑤	アクセスレベルの使用方法について static修飾子が付与されたクラス変数、 クラスメソッドについて、スーパークラスの概要、利用方法について		
	15	まとめ(小テスト)③	これまでの内容をまとめ 小テストを行う		
テキスト	中山清喬, 国本大悟, (2023).『スッキリわかるJava入門 第4版』インプレス.				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	プログラミング言語演習(前期)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	PE1	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	藤井 文一郎	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	コンピュータに問題解決の手順を教えるための言葉であるプログラム言語の習得を目的とする。 前期では、JAVA言語を用いて、基本的なプログラミング技術の修得を目指す。具体的には変数・配列・条件分岐・繰り返し等の文法・役割・動作を学習し、それらを用いて簡単なプログラムを記述できることを目標とする。 後期では、学んだ知識を前提にクラスとオブジェクトの概念を理解し、効率よくソフトウェアを記述するための知識として「クラスの継承、フィールド・メソッドの役割、インターフェースの実装」等を学ぶ。さらに、javaを用いたWebアプリケーション開発基本であるServlet・JSPについて学習できる。				
到達目標	1. プログラミング言語の制御構文を使用して、基本的なアルゴリズムを組み立てることができる。 2. 配列などの基本的なデータ構造を利用して、データ処理ができる。 3. メソッドの概念を理解し、プログラムを機能ごとに分割できる。 4. クラスの概念を理解し、基本的なクラスを作成できる。 5. 基本的なAPIを利用できる。 6. Servlet・JSPの概念を理解し、JavaのWebアプリケーション開発について理解を含める。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス	授業目標と今後の進め方		
	2	環境の導入	Eclipseの開発環境のセットアップ		
	3	Javaプログラム演習(1)	プロジェクトを作り、簡単なプログラムを動かす。		
	4	Javaプログラム演習(2)	Javaで用意されている演算子について説明と演算子を用いた様々な式の表現 条件式 (if文)を用いた分岐 条件式 (switch文)を用いた分岐と論理演算子		
	5	Javaプログラム演習(3)	演習問題①		
	6	Javaプログラム演習(4)	for文用いた繰り返し処理 while文用いた繰り返し処理 do文用いた繰り返し処理、多重の繰り返し処理		
	7	Javaプログラム演習(4)	1次元配列の使い方とその応用 2次元配列の使い方とその応用 Collection、List、Mapについて		
	8	Javaプログラム演習(4)	Character、String、StringBufferについて		
	9	Javaプログラム演習(4)	これまでの内容をまとめ 小テストを行う		
	10	クラスの応用①	クラス概要 クラスの宣言、修飾子について		
	11	クラスの応用②	クラスの継承について説明		
	12	クラスの応用③	クラスからインスタンスを生成する方法、インスタンスの状態について メンバ変数とローカル変数の違い、メンバ変数宣言時に付与できる修飾子について		
	13	クラスの応用④	メソッドの宣言方法、メソッド宣言時に付与できる修飾子について コンストラクタの概要、宣言方法、コンストラクタを複数宣言する方法につて		
	14	クラスの応用⑤	アクセスレベルの使用方法について static修飾子が付与されたクラス変数、 クラスメソッドについて、スーパークラスの概要、利用方法について		
	15	まとめ(小テスト)③	これまでの内容をまとめ 小テストを行う		
テキスト	中山清喬, 国本大悟, (2023).『スッキリわかるJava入門 第4版』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末制作物 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	プログラミング言語演習(後期)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	PE2	必修/選択	必修	単位	3
教員氏名	藤井 文一郎	授業方式	演習	時間数	90
授業概要	コンピュータに問題解決の手順を教えるための言葉であるプログラム言語の習得を目的とする。 前期では、JAVA言語を用いて、基本的なプログラミング技術の修得を目指す。具体的には変数・配列・条件分岐・繰り返し等の文法・役割・動作を学習し、それらを用いて簡単なプログラムを記述できることを目標とする。 後期では、学んだ知識を前提にクラスとオブジェクトの概念を理解し、効率よくソフトウェアを記述するための知識として「クラスの継承、フィールド・メソッドの役割、インターフェースの実装」等を学ぶ。さらに、javaを用いたWebアプリケーション開発基本であるServlet・JSPについて学習できる。				
到達目標	1. Webアプリケーションの基礎を学ぶ。 2. サーバについて理解する。 3. HTMLを作ることができる。 4. JSPを作ることができる。 5. Servletを作ることができる。 6. Servlet・JSPの概念を理解し、JavaのWebアプリケーション開発を構築できる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	Webアプリケーション	Javaがもっとも使われているWebアプリケーションについて学ぶ。		
	2	Tomcatサーバ環境構築	EclipseにTomcatサーバをセットアップして動かす。		
	3	HTML作成	HTMLを作成しTomcatサーバで配信する。		
	4	JSP作成	基本的なJSPを作成しTomcatサーバで配信する。		
	5	JSP応用	高度なJSPを作成しTomcatで配信する。		
	6	演習問題①	HTMLとJSPを使った例題作成。		
	7	HTTP	HTTPについて学び、動かす。		
	8	Servlet基礎	単純なServletを作成する。		
	9	Servlet演習	単純なServletをURLマッピングしてサーバで動かす。		
	10	Servlet応用	HTMLやJSPと連携するServletを作る。		
	11	演習問題②	HTMLとJSP、Servletを使った例題作成。		
	12	JDBC基礎	データベースとServletを繋げる。		
	13	JDBC応用	データベースを使って検索するServletを作る。		
	14	演習問題③-1	文字列を入力し、データベースから検索を行い、結果を表示するシステムを作る。		
	15	演習問題③-2	続き。本演習の出来次第を成績とする。		
テキスト	中山清喬, 国本大悟, (2023). 『スッキリわかるJava入門 第4版』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期末制作物 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	オブジェクト指向理論			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	OBJ	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	藤井 文一郎	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	1. オブジェクト指向がどのように生まれ、現状に至る経緯について学習する。 2. クラスの基本的な使い方や性質について理解する。 3. 理解の難しい部分は積極的に質問するなどして解決するように努めること。				
到達目標	1 javaプログラム(クラス)を書くことができる。 2 オブジェクト指向とは何かについて、その概念を述べるができる。 3 クラス、メソッド、継承などのオブジェクト指向特有の言葉について説明ができる。 4 クラス、メソッド、継承などオブジェクト指向特有の内容を実際に使いこなすことができる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	導入(オブジェクト指向とは、授業のすすめかた)	受講計画をたてる		
	2	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(1)	授業内容の復習 オブジェクト指向の始まりと発展について。		
	3	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(2)	授業内容の復習 クラスとその使い方。		
	4	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(3)	授業内容の復習 クラスとインスタンス。		
	5	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(4)	授業内容の復習 クラスの継承		
	6	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(5)	授業内容の復習 継承関係		
	7	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(6)	授業内容の復習 ポリモーフィズム		
	8	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(7)	授業内容の復習 パッケージの使用とFQCN		
	9	オブジェクト指向の基礎Ⅰ(8)	授業内容の復習 システムの設計とUML		
	10	演習① 応用プログラムの作成	応用プログラムAnimal、Dog、Catの作成		
	11	演習② 応用プログラムの作成	応用プログラムMoneyの作成		
	12	演習③ 応用プログラムの作成	Java APIの活用		
	13	オブジェクト指向の基礎Ⅱ(1)	授業内容の復習 システムの設計とクラス図、シーケンス図、他		
	14	オブジェクト指向の基礎Ⅱ(2)	授業内容の復習 システムの設計とユースケース図、アクティビティ図、他		
	15	まとめ	これまでの講義内容をまとめ、理解度の確認を行う		
テキスト	平澤 章, (2021).『オブジェクト指向でなぜつくるのか: 知っておきたいOOP、設計、アジャイル開発の基礎知識 第3版』日経BP.				
参考書					
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	サーバ・ネットワーク構築演習・セキュリティ			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	SNS	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	藤井 文一郎	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	現状のコンピュータシステムに欠かせないサーバ、ネットワークの基本とそれに伴って必要となる開発、運用、セキュリティ対策について必要となる技術についての知識を学習する。				
到達目標	コンピュータシステムを構築する際に必要となるコミュニケーションを円滑に行えること。また、設計開発の現場で必要となる項目の提案を行っていける知識を身につける。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	導入(サーバ・ネットワーク構築演習、授業のすすめかた)	受講計画をたてる		
	2	サーバとは	サーバの基礎を学習する。		
	3	クライアント／サーバシステム	クライアントとサーバの関係を学習する。		
	4	ネットワークとは	ネットワークの基礎知識を学習する。		
	5	TCP/IP	基本プロトコルであるTCP/IPについて学習する。		
	6	ルーティング	ネットワークルーティングについて学習する。		
	7	サーバの形態について	オンプレミス／クラウド／ハイブリット等のサーバの形態について学習する。		
	8	Webアプリケーション	Webサーバ／DNS／メールサーバ等について学習する。		
	9	企業内サーバ	DHCP／ファイルサーバ／プリンタサーバ／ディレクトリサーバ等について学習する。		
	10	セキュリティ	セキュリティのリスクについて学習する。		
	11	セキュリティの対策	セキュリティの対策について学習する。		
	12	暗号化方式	SSLやVPNについて学習する。		
	13	障害対策	サーバの障害対策について学習する。		
	14	サーバの運用	ログやバックアップ、監視等について学習する。		
	15	まとめ(小テスト)	これまでの内容を確認のための小テストを行う		
テキスト	横田一輝, 遠藤有貴, (2022). 『図解即戦力 サーバーのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる本』技術評論社.				
参考書					
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネスソフト演習(1年)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	BS1	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	高橋 寛子	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	この授業では、Microsoft Word の基本操作を中心に、ビジネス文書やレポート、案内状などの文書作成スキルを実践的に習得する。書式設定・図表挿入・ページ構成などの操作を学びながら、実務で使えるドキュメントを作成する力を身につけることを目的とする。タイピングやファイル操作の基本も確認し、ICTリテラシーの基礎固めも図る。				
到達目標	Wordの基本操作(入力・編集・保存)を正しく行える 実務で使用されるビジネス文書(報告書・案内文など)を作成できる 書式設定・レイアウト・図表・表現力を意識した文書編集ができる Wordを通じて、伝わる文書作成とビジネスマナーを理解する				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス・PC基本操作□	タイピング・ファイル保存・フォルダ管理など		
	2	Wordの起動と基本操作□	入力・保存・コピー&ペースト・編集機能		
	3	文字書式の設定□	フォント・サイズ・色・装飾・書式クリアなど		
	4	段落書式の設定□	揃え・行間・インデント・箇条書き／段落番号		
	5	ビジネス文書①:案内文作成□	形式・宛名・本文・締めの表現を学ぶ		
	6	表の作成と編集①□	表の挿入・行列の追加・幅調整・罫線設定		
	7	表の作成と編集②□	表の活用(料金表・スケジュール表など)		
	8	図形・SmartArt・画像の挿入□	図の挿入／レイアウト／文字列との配置調整		
	9	文書レイアウトと印刷設定□	余白・ページ設定・改ページ・ヘッダーとフッター		
	10	ビジネス文書②:報告書作成□	構成の工夫・目的・要点整理		
	11	差し込み印刷①:基本操作□	はがき宛名ラベル作成の基礎		
	12	差し込み印刷②:名簿と組み合わせ□	Excelと連携／応用設定		
	13	応用課題①:社内通知文の作成□	複数要素の組み合わせ／読みやすさを意識		
	14	応用課題②:プレゼン配布資料の作成	表・図・段組を活用したレイアウト演習		
	15	まとめと作品提出・振り返り□	総合課題発表・講評・習得内容の整理		
テキスト	AYURA, (2023). 『今すぐ使えるかんたん Word & Excel 完全ガイドブック 困った解決 & 便利技 [Office 2021/2019/2016/Microsoft 365対応版]』技術評論社.				
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(60%) ◎ 出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネスソフト資格試験対策(1年)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	BE1	必修/選択	必修	単位	6
教員氏名	高橋 寛子	授業方式	講義	時間数	90
授業概要	この授業では、Microsoft Office Specialist (MOS) Word 365&2019(一般レベル)の試験合格を目指し、公式テキストに基づいてスキル習得を進める。Wordの基本操作から応用機能まで体系的に学び、実務に即した操作力と試験対応力の両方を養う。授業では操作演習・確認問題・模擬試験に取り組み、確実な合格力を身につけることを目的とする。				
到達目標	MOS Word 365&2019(一般レベル)の出題範囲を理解・習得している 試験に対応できる実践的な操作力と時間配分力を身につけている 実務でも使える高度な文書作成スキル(書式設定、表、図、レイアウトなど)を習得している 模擬試験で合格点を安定して取れる状態を目指す				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／MOS試験とは□	試験概要・出題形式／学習方針確認		
	2	文書の作成と管理①□	文書の保存、表示、ヘルプの利用(第1章)		
	3	文書の作成と管理②□	印刷・設定／ドキュメントの管理(第1章)		
	4	文字・段落の書式設定①□	フォント・スタイル・段落の配置(第2章)		
	5	文字・段落の書式設定②□	間隔・インデント・罫線／スタイルの適用(第2章)		
	6	表やリストの作成と管理①□	表の挿入・編集・スタイル／段落番号・箇条書き(第3章)		
	7	表やリストの作成と管理②□	表のデザイン／並べ替え・罫線・配置(第3章)		
	8	参考資料と画像の挿入①□	SmartArt・画像・図形の操作(第4章)		
	9	参考資料と画像の挿入②□	テキストボックス、ワードアート、リンクの活用(第4章)		
	10	ページレイアウトと印刷□	余白・余白・改ページ／ヘッダー・フッター(第5章)		
	11	模擬試験①(時間計測あり)□	模擬試験1回目・解説・復習(テキスト巻末)		
	12	模擬試験②／弱点補強①□	模擬試験2回目・個別解説・課題演習		
	13	模擬試験③／弱点補強②□	模擬試験3回目・スキル別復習		
	14	応用演習・試験直前対策□	出題傾向別の応用問題・注意点確認		
	15	総まとめ・個別指導・試験申込案内□	最終模擬&振り返り・個別進捗チェック・試験案内		
テキスト	富士通エフ・オー・エム, (2020). 『MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集(よくわかるマスター)』FOM出版.				
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(60%) ◎ 出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	卒業制作準備			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	GPP	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	飯箸 泰宏	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	本講義は、卒業研究のための前段的な授業である。 AI(人工知能)に負けない創造性を身に着けるための基礎的な能力を学習し、システム開発の大半が経営支援のために行われていることを理解し、システム開発に必要なビジネスモデルや戦略の骨格を学ぶ。				
到達目標	AI化時代のビジネス社会において、生き抜けるような創造性を育むWay of lifeを身に着け、ビジネスモデルを理解する。その結果、卒研テーマの一次案を固めることを目標とする。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	創造の技術(1) AI化時代の卒業研究	「AI化時代の卒業研究(世界で初めて、世界でただ一つ)」の重要性 グループ作り		
	2	創造の技術(2) 生存活動サイクルとPBL	「生存活動サイクル」は、「学習活動サイクル」「生産活動サイクル」にも貫かれている。		
	3	創造の技術(3) 独創性と新規性	卒研のテーマを決めよう。 AIに勝つために必要なこと。「独創性」と「新規性」とは何。		
	4	創造の技術(4) 現場100回	現場を調べる。現場をもっと良くできないかを議論する。沈黙思考する。 カードワークを学習する。		
	5	創造の技術(5) 先行事例研究	テーマを決めたら、先行事例を捜せ。 先行事例、出典、自分の目標と先行事例の違い。表でまとめる。		
	6	創造の技術(6) 論文とレポートの書き方	「論文とレポートの書き方」先取り概要。 目次立て。ジャンル間の比較。		
	7	創造の技術(7) 創造の技術まとめ	創造の技術の振り返りとまとめ。		
	8	システムはビジネス(1) 企業理念と経営思想	システムは個人と社会の満足度を上げる。現代は、顧客の満足をビジネスが提供する。システムとその満足はビジネスから提供される。		
	9	システムはビジネス(2) 飯箸式経営戦略	経営戦略は、企業理念と経営思想に基づく。 基本戦略=「前方戦略-内部戦略-広報戦略」と他の主要に戦略群。		
	10	システムはビジネス(3) 進化するビジネスの事例	IT・インターネット業界のDX成功事例をレポートにまとめて、チーム内で分担報告。		
	11	システムはビジネス(4) 9マス形式飯箸モデル	ビジネスモデルのいろいろと飯箸式モデル。 DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(1)。		
	12	システムはビジネス(5) ビジネスモデルを視覚化する。	DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(2)。 グループ内発表後、作品提出。		
	13	システムはビジネス(6) OurSystemのビジネスモデル	卒研テーマのOurシステムのビジネスモデルを作成。 グループで1つを完成して提出。		
	14	システムはビジネス(7) ビジネスモデルまとめ	「システムはビジネス」(1)～(6)の授業を振り返ってまとめる。		
	15	卒業研究準備のまとめ	卒業研究準備の半年を振り返ってまとめる。		
テキスト	なし				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	卒業研究準備			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	GRP	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	飯箸 泰宏	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	本講義は、卒業研究のための前段的な授業である。 AI(人工知能)に負けない創造性を身に着けるための基礎的な能力を学習し、経営の理念、ビジネスモデルと戦略の骨格を学ぶ。				
到達目標	AI化時代のビジネス社会において、生き抜けるような創造性を育むWay of lifeを身に着け、ビジネスモデルを理解する。その結果、卒研テーマの一次案を固めることを目標とする。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	創造の技術(1) AI化時代の卒業研究	「AI化時代の卒業研究(世界で初めて、世界でただ一つ)」の重要性 グループ作り		
	2	創造の技術(2) 生存活動サイクルとPBL	「生存活動サイクル」は、「学習活動サイクル」「生産活動サイクル」にも貫かれている。		
	3	創造の技術(3) 独創性と新規性	卒研のテーマを決めよう。 AIに勝つために必要なこと。「独創性」と「新規性」とは何。		
	4	創造の技術(4) 現場100回	現場を調べる。現場をもっと良くできないかを議論する。沈黙思考する。 カードワークを学習する。		
	5	創造の技術(5) 先行事例研究	テーマを決めたら、先行事例を捜せ。 先行事例、出典、自分の目標と先行事例の違い。表でまとめる。		
	6	創造の技術(6) 論文とレポートの書き方	「論文とレポートの書き方」先取り概要。 目次立て。ジャンル間の比較。		
	7	創造の技術(7) 創造の技術まとめ	創造の技術の振り返りとまとめ。		
	8	突破するビジネス思考(1) 企業理念と経営思想	「より高い顧客の満足」「より強い仲間の結束」「利害関係者により多くの利益」。 ビジネスで勝つための3つの柱。		
	9	突破するビジネス思考(2) 飯箸式経営戦略	経営戦略は、企業理念と経営思想に基づく。 基本戦略=「前方戦略-内部戦略-広報戦略」と他の主要に戦略群。		
	10	突破するビジネス思考(3) 進化するビジネスの事例	ビジネスモデルの事例をレポートにまとめて、チーム内で分担報告。		
	11	突破するビジネス思考(4) 9マス形式飯箸モデル	ビジネスモデルのいろいろと飯箸式モデル。 DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(1)。		
	12	突破するビジネス思考(5) ビジネスモデルを視覚化する。	DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(2)。 グループ内発表後、作品提出。		
	13	突破するビジネス思考(6) OurSystemのビジネスモデル	卒研テーマのOurシステムのビジネスモデルを作成。 グループで1つを完成して提出。		
	14	突破するビジネス思考(7) ビジネスモデルまとめ	「突破するビジネス思考」(1)～(6)の授業を振り返ってまとめる。		
	15	卒業研究準備のまとめ	卒業研究準備の半年を振り返ってまとめる。		
テキスト	なし				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	卒業研究			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025		対象学年	2学年	前/後期
授業コード	GIN		必修/選択	必修	単位
教員氏名	飯箸 泰宏,焦 岩,南 薫伯			授業方式	演習
	時間数				
	30				
授業概要	卒業研究の前段として、卒業研究の目的開発を実践することを目指す。 そのため、目的開発の方法論と情報デザイン論を教えて、卒研のための目的開発を実践する。 また、1年次に身に着けられなかったサーバクライアントシステムやサーバの三層構造などを既存のサイトを実地に調べる体験を通じて理解する。卒業研究の目的と企画の発表の方法を教える。				
到達目標	「目標開発」「ドメイン調査」「情報デザイン」の基礎的能力を活用して、卒業研究の各自の目的が決定され、企画立案かできる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ		概要/キーワード	
	1	目的開発とドメイン調査(1)		「AI化時代の卒業研究(世界で初めて、世界でただ一つ)」の重要性。 グループ作り	
	2	目的開発とドメイン調査(2)		自校のHPの仕組みを理解し図解する。 サイト遷移図、システム構成図、モジュール構成図など	
	3	目的開発とドメイン調査(3)		某福祉法人のHP、某販売サイト×2、を調査し図解する。 サイト遷移図、システム構成図、モジュール構成図など	
	4	目的開発とドメイン調査(4)		発表資料の作り方 ①見つけた課題 ②背景 ③制作可能性 カードワークによる発想の整理	
	5	目的開発とドメイン調査(5)		全員発表「現場のIT課題と自分たちに行えること」 グループまたは個人発表	
	6	情報デザイン講義1		情報デザインとは何か。社会をつくる動物と社会的脳 コミュニケーション影響関係モデル	
	7	情報デザイン講義2		①情報コミュニケーションモデル/②大脳の構造 ③データ、情報、知識、知能/④情報をデザインすること/⑤琵琶ブログから	
	8	情報デザイン講義3		・SWOT法 対話法、弁証法--対自的情報コミュニケーション/例示、類似、対比、比喩(暗喩)、図解、変化--ジャーナリストの常套手段	
	9	情報デザイン講義4		最新のヒューマンインターフェイスのいろいろ	
	10	情報デザイン講義5		WEBコミュニケーションデザイン アーキテクチャ、アクセシビリティ、ユーザビリティ、フィーリング	
	11	情報デザイン講義6		ユニバーサルデザイン	
	12	プレゼン資料作成と発表練習1 「卒研で私 or 私たちが作るもの」		プレゼン資料の作り方と発表の方法 資料作成～その1 企画発表練習～その1	
	13	プレゼン資料作成と発表練習2 「卒研で私 or 私たちが作るもの」		資料作成～その2 企画発表練習～その2	
	14	プレゼン資料作成と発表練習3 「卒研で私 or 私たちが作るもの」		企画学内発表	
	15	まとめ		総復習	
テキスト	なし				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	卒業研究			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	GIN	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	飯箸 泰宏,焦 岩,南 薫伯	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	卒研の後期に当たって、創造性または新規性をビジネスモデルからも補強する学習を行い、併せて論文の書き方を学習する。「論文」は、混同されやすい「小論文」「(学校)レポート」「感想文」と内容も形式も異なるものであることを協調する。また、実地でのドメイン調査が許されない学習環境であるため、その代替として先行事例研究の実習を取り上げ、論文にも明示的に取り込むことを目指す。				
到達目標	前期で獲得した「目標開発」「ドメイン調査」「情報デザイン」の基礎的能力に加えて、システムを提供するビジネス側の「経営戦略」や「ビジネスモデル」の知見と能力も加えて、卒業研究に独創性および新規性が備わり、卒業論文が書ける。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	システムはビジネス(1) 企業理念と経営思想	システムは個人と社会の満足度を上げる。現代は、顧客の満足をビジネスが提供する。システムとその満足はビジネスから提供される。		
	2	システムはビジネス(2) 飯箸式経営戦略	経営戦略は、企業理念と経営思想に基づく。 基本戦略=「前方戦略-内部戦略-広報戦略」と他の主要に戦略群。		
	3	システムはビジネス(3) 進化するビジネスの事例	IT・インターネット業界のDX成功事例を小論文形式にまとめて、チーム内で分担報告。		
	4	システムはビジネス(4) 9マス形式飯箸モデル	飯箸式モデルの解説と理解。 DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(1)。		
	5	システムはビジネス(5) ビジネスモデルを視覚化する。	DXの成功事例を9マス形式ビジネスモデルに当てはめる(2)。 グループ内発表後、作品提出。		
	6	システムはビジネス(6) OurSystemのビジネスモデル	卒研テーマのOurシステムのビジネスモデルを作成。 グループで1つを完成して提出。		
	7	システムはビジネス(7) ビジネスモデルまとめ	「システムはビジネス」(1)～(6)の授業を振り返ってまとめる。		
	8	論文とレポートの書き方(1) 「ジャンルと形式」	文章にはさまざまなジャンルがあることに気づき、ジャンルごとに書くべき形式があることを理解する。		
	9	論文とレポートの書き方(2) 「逆順に書け」	初心者が論文を書こうとする際に、最も難しいのは、研究の成果を断定または過去形で書くことである。これを防ぐ実践的な方法論を学ぶ。		
	10	論文とレポートの書き方(3) 「世界初、世界でただ一つ」	論文が他の文章ジャンルと決定的に異なるのは独創性または新規性を要求されることである。独創性や新規性とは何かを理解する。		
	11	論文とレポートの書き方(4) 「先行事例の調査」	学外に出ることが許されていないため、ドメイン調査の実地体験ができない。生成AIと文献検索、ネット検索での先行事例の批判的調査を行う。		
	12	論文とレポートの書き方(5) 「検索の達人ー文献の達人1」	論文にするためには、先行事例についても、改めて文献で裏づける必要がある。図書館等での文献の見つけ方を理解する。		
	13	論文とレポートの書き方(6) 「引用の達人ー文献の達人2」	引用文献、参考文献の表記法にはルールがある。ルールは統一されているとは言いが、代表的な一つの方式を理解し、応用できるようにする。		
	14	論文とレポートの書き方(7) 「総集編」	論文とレポートの書き方を振り返って、まとめを行う。		
	15	総まとめ	「システムはビジネス」と「論文とレポート」の授業を振り返ってまとめる。		
テキスト	なし				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末テスト ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	情報処理資格試験対策(1年)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	IP1	必修/選択	必修	単位	6
教員氏名	焦 岩	授業方式	講義	時間数	90
授業概要	本授業では、国家試験「ITパスポート」合格を目標に、出題範囲の基礎知識を段階的に学習し、出題傾向に沿った演習を行う。授業では教科書を中心に用語や概念の理解を深めながら、繰り返し問題演習を行い、最終的に模擬試験で実力を確認する。				
到達目標	ITパスポート試験の出題範囲に関する基本的な知識を習得する 各分野(ストラテジ系／マネジメント系／テクノロジー系)の重要用語と概念を理解し説明できる 出題形式に慣れ、時間内に解答する力を身につける 模擬試験で合格点(60%以上)を取れるようになる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／試験の概要と学習の進め方	ITパスポートとは／出題範囲／勉強法の紹介		
	2	ストラテジ系①:企業活動と経営戦略□	企業活動／ビジネス戦略／SWOT／マーケティング		
	3	ストラテジ系②:会計・法務□	財務諸表／法律知識(著作権・個人情報保護など)		
	4	ストラテジ系③:システム戦略□	情報システム戦略／業務プロセス／SCM・CRM		
	5	マネジメント系①:プロジェクトマネジメント	開発モデル／WBS／進捗・品質・リスク管理		
	6	マネジメント系②:サービスマネジメント□	ITIL／SLA／サービスデスクなど		
	7	テクノロジー系①:基礎理論□	論理演算／2進数／情報の単位など		
	8	テクノロジー系②:コンピュータ構成要素□	ハードウェア／ソフトウェア／入出力装置		
	9	テクノロジー系③:システム構成とネットワーク□	クライアント・サーバ／ネットワーク技術		
	10	テクノロジー系④:セキュリティ□	情報セキュリティ／マルウェア／暗号化など		
	11	分野別演習①:ストラテジ系□	教科書＋問題集の出題順に演習・解説		
	12	分野別演習②:マネジメント系□	同上(マネジメント系)		
	13	分野別演習③:テクノロジー系□	同上(テクノロジー系)		
	14	模擬試験①(演習＋解説)□	実践形式で模試／解説・フィードバック		
	15	模擬試験②／総まとめ□	本番形式／苦手分野の総復習とアドバイス		
テキスト	高橋京介, (2024). 『【令和7年度】いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集』技術評論社.				
参考書					
評価基準	◎ 各回の模擬試験成績:20%×2 ◎ 出席率:60%				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	簿記基礎			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	BKB	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	焦 岩	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	この授業では、日商簿記3級合格に必要な商業簿記の基礎知識を、講義形式で丁寧に解説していく。取引の仕訳から帳簿記入、決算整理までを段階的に学び、簿記の仕組みと全体像を理解することを目的とする。演習は家庭学習用とし、授業内では解説中心の座学で理解を深める。				
到達目標	商業簿記の基本用語と会計の仕組みを理解できる 代表的な取引の仕訳ができるようになる 決算整理や財務諸表の基礎を説明できる 日商簿記3級の出題内容を理論的に理解している状態になる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス・簿記とは□	簿記の目的／企業活動と会計の関係／簿記の種類		
	2	仕訳の基本□	資産・負債・資本の分類／複式簿記の仕組み		
	3	勘定科目と取引の分類□	主要な勘定科目とその使い方／取引の5分類		
	4	商品売買の仕組み①□	三分法の理解／現金取引と掛取引の処理		
	5	商品売買の仕組み②□	商品券・割引・返品処理など		
	6	現金・預金・小口現金□	現金過不足／小口現金／当座預金の処理		
	7	債権・債務の会計処理□	受取・支払手形／貸倒処理の基礎		
	8	有形固定資産と減価償却□	備品・建物の取得と償却／売却処理		
	9	費用と収益の認識□	給料・水道光熱費・旅費交通費などの経費処理		
	10	試算表のしくみ□	合計試算表と残高試算表の読み方		
	11	決算整理①: 棚卸と収益・費用の振替□	仕入・売上の調整／仕訳のポイント		
	12	決算整理②: 経過勘定と引当金□	前払・未払／貸倒引当金の計算		
	13	精算表の仕組み□	精算表の構成と記入の考え方		
	14	財務諸表の基礎□	損益計算書・貸借対照表の見方		
	15	総まとめ・用語と流れの確認□	各章の重要ポイント整理と簿記の全体像の復習		
テキスト	大下航, (2024). 『基本がわかる! しっかり役立つ! はじめての簿記』ナツメ社.				
参考書	駒井伸俊, (2023). 『豊富な仕訳例で世界一使いやすい! 勘定科目と仕訳の事典 第2版』秀和システム. 伊藤龍峰他, (2021). 『基本簿記原理 第2版』中央経済社.				
評価基準	◎ 期末試験40% ◎ 出席率60%				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	経営事務管理			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	BAM	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	焦 岩	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	この授業では、現代の経営において求められる「ビジネスモデルの構造的理解」を中心に、企業経営や組織運営の基本、事務的・管理的な視点を体系的に学ぶ。とくに「ターゲット」「バリュー」「ケイパビリティ」「収益モデル」という4要素を切り口に、ビジネスの立ち上げ・運営・改善に必要な考え方を事例とともに学習する。講義・ケーススタディ・グループディスカッションを織り交ぜながら理解を深める。				
到達目標	経営管理とビジネスモデルの基本構造を説明できる ターゲット、バリュー、ケイパビリティ、収益モデルの視点からビジネスを分析できる 実在する企業や自らのビジネスアイデアを、構造的に捉えて説明できる 経営に必要な管理的観点(計画・組織・人材・プロセス)を理解する				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンスと経営の全体像□	経営とは何か／企業活動の基本構造／本授業の進め方		
	2	ビジネスモデルの4要素概観□	ターゲット・バリュー・ケイパビリティ・収益モデルの概要		
	3	ターゲット①:市場と顧客□	市場の定義／セグメンテーション／顧客ニーズの捉え方		
	4	ターゲット②:ペルソナとカスタマージャーニー□	顧客像の可視化／ユーザーの行動と接点の分析		
	5	バリュー①:提供価値とは□	価値とは何か／機能的・感情的・社会的価値の整理		
	6	バリュー②:差別化戦略□	競合との比較／USP(独自の売り)の見つけ方		
	7	ケイパビリティ①:資源と組織□	人・物・金・情報の経営資源と活用法		
	8	ケイパビリティ②:プロセスと仕組み□	業務フロー／オペレーション設計／業務効率化		
	9	収益モデル①:収益のパターン□	売上・利益の構造／収益化のしくみ(例:サブスク、広告モデル)		
	10	収益モデル②:価格設定と利益率□	原価／価格戦略／損益分岐点の考え方		
	11	経営管理①:計画と戦略□	中長期計画／KPIとPDCA／戦略的思考		
	12	経営管理②:組織と人材□	組織構造／リーダーシップ／人材配置と育成		
	13	経営管理③:リスクと持続可能性□	経営リスク／危機管理／ESG・SDGsの視点		
	14	ビジネスモデルの事例分析□	既存企業を題材に4要素を分解・分析(グループ発表)		
	15	総まとめと振り返り□	各要素の再確認／経営事務管理の視点の定着／学びの共有		
テキスト	三谷宏治, (2019).『新しい経営学』ディスカヴァー・トゥエンティワン				
参考書					
評価基準	◎ 期末試験20% ◎ 平常レポート50% ◎ 出席率30%				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	データベース演習			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	BIK	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	中村 隆幸	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	☒ プログラミング初心者:簡単なコードを書いて動かしたい ☒ データ分析に興味がある人:Pythonでデータを処理したい ☒ 簡単な自動化をしたい人:繰り返し作業をPythonで効率化				
到達目標	・自力でPythonのコードが書けること。 ・データ分析、RPAの意味がわかること。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーションpythonの概要	🔊 まずは「Hello, World!」を出力して、Pythonに慣れていきましょう！ 🔗🔗 次のステップ Pythonに慣れたら、以下のステップに進むとより実践的なスキルが身につきます！ ◇ データ分析 (pandas, numpy) ◇ 機械学習 (scikit-learn, TensorFlow) ◇ Web開発 (Flask, Django) ◇ 自動化スクリプト (Excel操作, Webスクレイピング)		
	2	pythonプログラミング基礎			
	3	オブジェクトとクラス			
	4	関数とモジュール			
	5	pythonプログラミング応用 I			
	6	pythonプログラミング応用 II 課題演習			
	7	Webアプリ I			
	8	Webアプリ II			
	9	Webアプリ III			
	10	スマホアプリ			
	11	インフラ自動化			
	12	データサイエンス			
	13	機械学習・ディープラーニング			
	14	GPUコンピューティング			
	15	IoTプログラミング			
テキスト	鶴長鎮一, (2022).『これからはじめる Python入門講座 ― 文法から機械学習までの基本を理解』技術評論社.				
参考書					
評価基準	◎ 期末演習課題 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	データベース演習			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	DBE	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	中村 隆幸	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	実際のデータベース言語としてMySQLを使用し、実例を交えながらSQLの文法を指導する。また、正規化の概念を修得しテーブル設計が行えるようになることを指導する。 初心者でもつまづきにくいように、手を動かしながら学ぶのが大事！				
到達目標	・任意のテーブルに対していろいろなSQLを発行できるようになる。 ・正規化したテーブルの設計が行えること。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーションMySQLのインストール	使用ツールMySQL(実務でもよく使われる) 1. SQLの基本概念 2. 基本的なSQL文(データの取得) 3. データの操作(追加・更新・削除) 4. 集計とグループ化 5. テーブル結合(JOIN) 6.演習(データベースを使った課題)		
	2	初めてのSQL			
	3	基本文法と4大命令			
	4	操作する行の絞りこみ			
	5	検索結果の加工			
	6	式と関数			
	7	集計とグループ化			
	8	副問い合わせ			
	9	複数テーブルの結合			
	10	トランザクション			
	11	テーブルの作成(最初の週でもやる)			
	12	さまざまな支援制度			
	13	テーブルの設計(最初の週でもやる)			
	14	演習Ⅰ			
	15	演習Ⅱ			
テキスト	中山清喬; 飯田理恵子他, (2024).『スッキリわかるSQL入門 第4版ドリル256問付き!』インプレス.				
参考書					
評価基準	◎ 期中の演習課題の評価 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	キャンパスキャリアデザイン			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	CCD	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	石部 達也	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	この授業では、自分の性格や価値観を理解し、日本の社会や仕事の仕組みを知りながら、将来の進路(就職・進学)を考える力を育てる。履歴書や面接の練習、日本企業との違いなど、実践的なスキルも身につける。ディスカッションやペアワークを多く取り入れ、自分の意見を伝える練習も行う。				
到達目標	自分の強み・価値観・適性を理解し、将来に向けて行動できるようになる 日本社会や日本企業の特徴を理解し、自分に合う進路を考えられるようになる 履歴書の書き方や面接の答え方など、就職活動に必要な基本スキルを身につける グループで協力し、自分の考えを相手に伝える練習を通して、日本語力と対人スキルを伸ばす				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション・自己理解①□	授業の流れ説明／「自分ってどんな人？」性格診断・価値観ワーク		
	2	自己理解②(モチベーション)□	好きなこと・得意なこと・やりたいことを整理する		
	3	他者理解とチーム協働□	グループでの役割・違いを認めるコミュニケーション体験		
	4	日本の社会と仕事の仕組み□	日本の働き方、雇用の種類、外国人の働き方を知る		
	5	職業理解①(業界と職種)□	業界マップづくり／職業カードゲーム		
	6	職業理解②(先輩インタビュー)□	留学生の先輩の話を聞き、将来像を描く		
	7	進路設計①(自分の将来を考える)□	「5年後の自分」を書いてみよう		
	8	進路設計②(目標の作り方)□	SMART目標を立てて、計画を立てる練習		
	9	履歴書の書き方①(自己PR)□	「私の強み」「私の経験」を書いてみる		
	10	履歴書の書き方②(志望動機)□	志望動機の書き方、伝え方を練習する		
	11	面接対策①(質問に答える)□	よくある質問にグループで答える練習		
	12	面接対策②(ロールプレイ)□	模擬面接をして、お互いにフィードバック		
	13	日本のビジネスマナー□	あいさつ・敬語・名刺交換の基本を学ぶ		
	14	発表準備:キャリア発表づくり□	自分のキャリアプランをスライドにまとめる		
	15	最終発表・振り返り□	一人ずつキャリア発表＋振り返り・相互評価		
テキスト	加賀博, (2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	就職計画対策			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	EPM	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	石部 達也	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	この授業では、留学生が日本での就職活動を成功させるために必要な知識・スキル・実践力を身につける。企業研究、エントリーシート(ES)の書き方、自己分析の深堀、面接対策、ビジネスマナーなどを実践的に学ぶ。模擬面接や模擬就職試験も取り入れ、実際の就職活動を想定した訓練を行う。				
到達目標	日本の就職活動のスケジュールやルールを理解し、主体的に行動できるようになる 自分の希望職種や業界に合わせて応募書類を適切に作成できる 面接に自信を持って臨めるようになり、自分の強みを的確に伝える力を養う ビジネスマナー・日本語での対話力・自己管理能力を実践的に伸ばす				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス・就職活動の全体像□	日本の就職活動の特徴と年間スケジュールの理解		
	2	自己分析の再整理□	自分の強み・経験・価値観の言語化練習(深掘り)		
	3	職種・業界研究□	自分に合う仕事を見つける業界マップ／企業情報の読み方		
	4	エントリーシート(ES)の基礎□	企業に伝わる「自己PR」「ガクチカ」の構成		
	5	志望動機の作り方□	応募企業ごとに合わせる方法／ワークシート演習		
	6	履歴書・職務経歴書の作成□	書類添削／パソコン入力練習(写真・署名含む)		
	7	グループディスカッション対策□	実践練習＋フィードバック(リーダー役・書記役)		
	8	面接対策①(基礎)□	自己紹介・定番質問への答え方(動画チェックあり)		
	9	面接対策②(実践)□	個人模擬面接＋評価／改善ポイントの共有		
	10	マナー対策(企業訪問前の準備)□	服装・メール・電話・訪問の作法(ロールプレイ)		
	11	インターンシップ・アルバイトの活用法□	就職へのつなげ方／成功事例紹介		
	12	応募プラン作成①(求人検索・比較)□	就職サイトの使い方・求人票の読み方		
	13	応募プラン作成②(応募戦略の設計)□	志望順位リストとスケジュール表の作成		
	14	就職模擬試験(書類＋面接)□	提出書類＋本番形式の模擬面接で総合評価		
	15	まとめ・振り返り・今後の行動計画□	自己評価・講師評価・個別アドバイス／今後の進路確認		
テキスト	加賀博,(2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ソーシャルマナー			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	SMN	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	平田 真智子	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	日本の社会に通用するマナーを理解する。具体的には、日本の社会で円滑な人間関係を築くための礼儀作法を理解する。仕事やプライベートの両方で、自己アピールや人間関係の構築などにも役立てるような授業とする。				
到達目標	挨拶や表情、態度、言葉遣い、身だしなみに気を付けることができる。日本人の生真面目さを理解し、的確に確実に時間を守ることができるようになる。プライベートでも学校社会、ビジネスでも報告・連絡・相談を怠らないような癖づけができるようになる。丁寧なコミュニケーションを意識し、常に身の回りの整理整頓を心がけることができるようになる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション。SMNとは。自己紹介など。SMNはなぜ必要か。目標設定	①ソーシャルマナーとは②講義ルールと採点基準の説明③関わり方のSMNIについての説明④自己紹介ができるようになる(資料あり)SW→共有		
	2	日常生活でのソーシャルマナー(立ち方、歩き方、座り方、立ち方、挨拶の仕方)	・自国のマナーを発表する・日本のマナーを理解する・SW→発表・この時も、必ずストロークを与えることを約束する。		
	3	日常生活でのソーシャルマナー(言葉遣いについて気を付けること)	・自国のマナーを発表する・日本のマナーを理解する・SW→発表・この時も、必ずストロークを与えることを約束する。		
	4	日常生活でのソーシャルマナー(公共施設での姿勢や気を付けること)	・自国のマナーを発表する・日本のマナーを理解する・SW→発表・この時も、必ずストロークを与えることを約束する。		
	5	日本の文化について学ぶ	日本の伝統文化や神社のお参りの文化など、季節ごとの文化について調べたりしながら、お互いに発表する。自国の文化と比べながら発表		
	6	冠婚葬祭について学ぶ①	日本の冠婚葬祭について調べて発表する、自国と比べて発表する		
	7	冠婚葬祭について学ぶ②	日本の冠婚葬祭について調べて発表する、自国と比べて発表する		
	8	食事のマナーについて学ぶ	日本の食事の食文化を学び、日本のテーブルマナーについても学ぶ。発表する		
	9	異文化コミュニケーション	多国籍のこの教室ではどのようにしていけば良いか、気遣いなどを考えて発表する。お互いに讃え合い、受け止め合うことにする		
	10	人付き合いのマナー	日本の察する文化を理解して、人付き合いを調べたり学んだりする。発表してお互いに理解を深めていく。		
	11	自己分析ができ、気持ちよく自己紹介ができる	ワークで自己理解を深めていく。皆の前で発表できるようになる。		
	12	日本の地理を知る	日本の地理について学び、好きな地域についてSWし発表する		
	13	プレゼンテーションができる	先週の内容をプレゼンテーションする		
	14	コンプライアンスについて・労働法規について	調べて、学ぶ		
	15	アサーティブな交流ができるようになる	アサーションを学び、事例検討をして発表する		
テキスト	尾形圭子, (2024). 『すぐに役立つ大人のマナーブック』家の光協会.				
参考書	藤井美音子他, (2025). 『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力[改訂版]』国書刊行会. 二瓶康子, (2024). 『留学生のためのビジネスマナードリルブック』シナノ書籍印刷株式会社. 林千賀; 羽鳥美有紀; 齋藤貢, (2020). 『おもてなしの日本語心で伝える接遇コミュニケーション基本編』アスク.				
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネスコミュニケーション			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	BNC	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	田嶋 英樹	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	本授業では、職場やビジネスシーンにおいて求められる「伝える力」「聴く力」「書く力」「話す力」を総合的に養う。あいさつや敬語、名刺交換などの基本マナーから始まり、報連相（報告・連絡・相談）や会議、プレゼン、メール、クレーム対応など、就職後に必要な実践的なコミュニケーション技術を身につける。演習やロールプレイを通じて、異文化間でも信頼される対人スキルを育成する。				
到達目標	社会人としての適切な言葉遣い・態度を理解し、実践できる ビジネス文書やメールを正しく書けるようになる 職場での報連相や会話において、正確で丁寧に伝達できる プレゼンテーションや会議での表現力を高める 異文化コミュニケーションの注意点を理解し、多様な人と円滑にやりとりできるようになる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーションと自己紹介口	授業の進め方／自分の強み・価値観を伝える練習／アイスブレイク活動		
	2	ビジネスマナーの基本口	挨拶・身だしなみ・名刺交換・立ち居振る舞いの練習		
	3	敬語と丁寧な表現口	尊敬語・謙譲語の使い分け／NG表現とその理由／会話ロールプレイ		
	4	報連相①: 報告の仕方口	目的・タイミング・簡潔な伝え方／シチュエーション別ロールプレイ		
	5	報連相②: 連絡と相談口	正確に情報を共有する／上司や先輩への相談のしかた／ワークシート演習		
	6	ビジネス会話の聞き方・話し方口	あいづち・確認・復唱・傾聴力の向上／グループでの対話練習		
	7	電話対応と受付応対口	よくある電話対応／取次ぎ・折り返し・不在の対応／ロールプレイ中心		
	8	ビジネスメールの書き方口	件名・宛名・本文・署名のマナー／依頼・お礼・謝罪などの書き分け演習		
	9	文書・掲示・社内報告文の作成口	社内通知、報告書、申し送りメモなど／簡潔で読みやすい文章練習		
	10	プレゼンテーション①: 構成と準備口	伝えたいことの整理／資料づくり／伝える順序を考える演習		
	11	プレゼンテーション②: 発表練習口	声の出し方、姿勢、アイコンタクト、聞き手を意識した発表練習		
	12	会議・ミーティングの参加と進行口	発言のタイミング、要点の伝え方、議事録のポイント／模擬会議		
	13	クレーム・トラブル対応口	感情のコントロール／謝罪・共感・提案のフレーズ練習／事例研究		
	14	異文化コミュニケーション口	文化の違いによる誤解／非言語表現／留学生ならではの視点共有		
	15	総まとめと発表会口	ペアまたはグループでビジネス会話実演／ふりかえり・今後の課題共有		
テキスト	なし				
参考書	なし				
評価基準	◎ 期末試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	パソコン基礎			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	PCB	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	南 薫伯	授業方式	演習	時間数	60
授業概要	コンピュータの基本操作等を含め、情報リテラシー全般を身につけるための授業である。実習を中心とし、コンピュータ初心者も必要な操作ができるようにする。				
到達目標	技術者としてももちろん、事務系の仕事に就きたい学生に対しても、仕事中で求められるパソコンの基礎操作能力および、情報を処理する能力を身につけることを授業の目標とする。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ		概要/キーワード	
	1	オリエンテーション、コンピューター概論		授業の進み方 試験の特徴・内容構成・申請方法等 コンピュータと情報について解説	
	2	文字入力①		キーボード練習	
	3	文字入力②		日本語タイピング練習	
	4	インターネットの利用方法		ネットワークの分類、インタネットの歴史、ウェブサービス、メールの書き方	
	5	情報の調べ方・まとめ方		インタネット上で情報を集める方法	
	6	情報と法律		著作権などの法規と倫理	
	7	情報とセキュリティ		インタネット上のセキュリティ対策	
	8	文字編集		Wordの使い方	
	9	表計算		Excelの使い方	
	10	プレゼンテーション		PowerPointの使い方	
	11	グラフィック画像編集		GIMPの使い方	
	12	動画編集		DaVinci Resolveの使い方	
	13	3Dモデリング		Blenderの使い方	
	14	コンピューターとネットワークの仕組み		コンピュータとインタネットの構成とそれぞれ機能の実現方法	
	15	フローチャット		フローチャットの作成方法	
テキスト	奥村晴彦, 森本尚之, (2024). 『基礎からわかる情報リテラシー 改訂第5版』 技術評論社.				
参考書	なし				
評価基準	◎ 授業内での理解度 ◎ 出席率(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	インターネット/セキュリティ			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	INS	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	南 薫伯	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	過去のインターネットでのトラブルやデジタル犯罪から対策方法を学び、セキュリティへの理解を深める。本授業によりインターネットセキュリティへの基本的な考え方、対応策の知識を習得する。 インターネットの重要性、利便性の理解を深めつつ、過去に起こったネットトラブルや犯罪、事件等からインターネットのリスクと回避方法を学ぶ。				
到達目標	・標準的なWINDOWSマシンでのセキュリティ対策が自分で行えるようになる。 ・インターネットセキュリティを自分で適切に行うことができる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	イントロダクションインターネットを使ったサービスを学ぶ	インターネット、メール、サーバ、クラウド、コンピュータウイルス、ワーム、Winny		
	2	インターネットの仕組みと攻撃について概要を学ぶ	サービスの仕組みと攻撃要素について		
	3	情報セキュリティの脅威(個人)	スマホ決済の不正利用 フィッシングによる個人情報等の詐取 ネット上の誹謗・中傷・デマ メールやSMS 等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求 クレジットカード情報の不正利用 インターネットバンキングの不正利用 インターネット上のサービスからの個人情報の窃取 偽警告によるインターネット詐欺 不正アプリによるスマートフォン利用者への被害 インターネット上のサービスへの不正ログイン		
	4				
	5				
	6				
	7	情報セキュリティの脅威(組織)	ランサムウェアによる被害 標的型攻撃による機密情報の窃取 テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃 ビジネスメール詐欺による金銭被害 内部不正による情報漏えい 予期せぬIT 基盤の障害に伴う業務停止 “インターネット上のサービスへの不正ログイン” 不注意による情報漏えい等の被害 脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加		
	8				
	9				
	10				
	11	Windows セキュリティ	ウィルスと脅威の防止 ファイアウォールとネットワーク保護 フォルダーオプション		
	12				
	13				
	14				
	15	授業のまとめ			
テキスト	『図解まるわかり セキュリティのしくみ』株式会社翔泳社				
参考書	※基本的に、スライドや授業で都度用意する資料を中心に授業を進めます。				
評価基準	1.期末試験による総合評価(60%) 2.授業内での小テスト(ファイル提出を含む)と出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	一般教養Ⅱ			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	CM2	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	南 薫伯	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	就職試験で出題される一般教養の各テーマについて授業を行う。特に例年留学生のモチベーションを維持させるのが難しい科目のため、学習する意義などを随時提示しながら進めていく。 就職試験で出題される一般教養の各テーマについて教材・資料を作成し、左記に基づいて授業を展開する。解説をした上で、実際に 出題された問題を解かせる。				
到達目標	就職試験で一般教養が出題された際、自分の力で回答し、合格出来るようにする。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ		概要/キーワード	
	1	国語(1)		漢字の読み・書き取り	
	2	国語(2)		四字熟語・慣用句・ことわざ	
	3	国語(3)		長文読解・文章整理	
	4	日本史(1)		明治維新まで	
	5	日本史(2)		近代史～現代	
	6	世界史(1)		中世まで	
	7	世界史(2)		近代史～現代	
	8	数学(1)		式の計算・方程式	
	9	数学(2)		順列・組合せ・確率	
	10	数学(3)		グラフ・図形問題	
	11	理科(1)		化学	
	12	理科(2)		物理	
	13	理科(3)		生物・地学	
	14	文化・スポーツ(1)		文学作品	
	15	文化・スポーツ(2)		音楽・絵画	
テキスト	高橋書店「超速マスター！一般常識&時事問題」				
参考書	※基本的に、スライドや授業で都度用意する資料を中心に授業を進めます。				
評価基準	1.期末試験による総合評価(60%) 2.授業内での小テスト(ファイル提出を含む)と出席率(40%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネス外国語(前期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	BL1	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	南 薫伯	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	この授業では、ビジネスの現場で必要とされる「聞く力」と「話す力」の土台を築くことを目的に、シャドーイングを用いた発話トレーニングを中心に学習する。本年度の受講生は全員留学生であるため、母語ではなく「ビジネスの現場に必要な日本語」を外国語として学習します。教材は英語・中国語・ベトナム語の訳付きで、日本語の理解を助けながら学習できる設計となっている。前期では初～中級レベルの会話文を使い、発音・イントネーション・リズムを中心に練習し、簡単なビジネス会話ができる基礎力を養う。				
到達目標	正しい日本語の発音・リズム・イントネーションを身につける シャドーイングを通してリスニング力とスピーキング力を強化する ビジネスの基本表現や丁寧語・敬語の基礎を理解し、簡単な会話ができるようになる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／発音・シャドーイングとは□	日本語の音声特徴／教材の使い方		
	2	Lesson 1: あいさつ□	基本的な挨拶表現・イントネーション練習		
	3	Lesson 2: 自己紹介□	名前・出身・職業／敬語の初歩		
	4	Lesson 3: 会社での紹介□	社内の紹介・部署・肩書きの言い方		
	5	Lesson 4: 電話対応□	名乗り方・伝言・基本応対		
	6	Lesson 5: スケジュール確認□	日時調整／「～できますか」の表現		
	7	Lesson 6: 訪問・案内□	訪問時のマナー・社内の案内		
	8	Lesson 7: お願い・依頼□	丁寧な依頼表現／「～いただけますか」など		
	9	Lesson 8: 感謝・謝罪□	「申し訳ありません」「ありがとうございます」など		
	10	復習①(Lesson 1～4) □	ペア練習・リスニングテスト・文型確認		
	11	復習②(Lesson 5～8) □	グループ練習／発音チェック・語彙テスト		
	12	発展練習①(実践シャドーイング) □	教材の音声＋会話文再現(録音)		
	13	発展練習②(ロールプレイ) □	ビジネス場面設定による対話練習		
	14	表現と語彙のまとめ□	よく使うビジネス表現の復習		
	15	総復習と評価□	会話発表／シャドーイングテスト／到達度確認		
テキスト	古本裕美他, (2023). 『シャドーイング もっと話せる日本語 初～中級編: 英語・中国語・ベトナム語訳付き』くろしお出版.				
参考書					
評価基準	◎ 平常点 (50%) ◎ 出席率 (50%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネス外国語(後期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	BL2	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	南 薫伯	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	この授業では、前期に続き、ビジネスの場で使われる実践的な日本語力を高めることを目的に、シャドーイングと場面別の会話練習を中心に学習する。本年度の受講生は全員留学生であるため、外国語としての日本語を学ぶ形式とし、「日本語でビジネスコミュニケーションができる力」を目指す。教材には英語・中国語・ベトナム語の訳が付いており、受講生が自国語との比較を通じて効果的に日本語を理解・習得できるよう配慮されている。中～上級の会話文を用い、提案・説明・交渉といったより高度な場面に対応できる実践力を養う。				
到達目標	丁寧語・謙譲語・尊敬語の使い分けができる ビジネス場面でのやりとり(説明・相談・提案など)に対応できる シャドーイングを通じて流暢さとリスニング力を強化する				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス(後期の目標)□	レベル確認と復習／音読法の確認		
	2	Lesson 1: 来客対応□	訪問客への対応／社外とのやり取り		
	3	Lesson 2: 会議での発言□	意見を述べる／反対・賛成の表現		
	4	Lesson 3: 出張・移動□	計画説明・変更・トラブル対応		
	5	Lesson 4: 商品の説明□	商品の特徴・性能の説明／比較表現		
	6	Lesson 5: トラブル対応□	クレーム処理／お詫び・提案の表現		
	7	Lesson 6: 報告・連絡・相談□	業務報告・丁寧な相談の仕方		
	8	Lesson 7: 上司とのやりとり□	謙譲語・尊敬語を使った適切な対応		
	9	Lesson 8: 提案と交渉□	提案する／条件を伝える表現練習		
	10	復習①(Lesson 1～4)□	ペア練習・語彙確認／イントネーション		
	11	復習②(Lesson 5～8)□	ディスカッション形式の実践練習		
	12	発展練習①: ビジネスメール音読□	メール文面を声に出して読む／敬語の再確認		
	13	発展練習②: 会議プレゼン練習□	簡単なプレゼンテーションスクリプトの発話練習		
	14	総合ロールプレイ□	ビジネス会話の総合演習(チーム活動)		
	15	総復習・スピーキング評価□	発話・語彙確認／振り返りシート記入		
テキスト	古本裕美他, (2024). 『シャドーイング もっと話せる日本語 中～上級編: 英語・中国語・ベトナム語訳付き』くろしお出版.				
参考書					
評価基準	◎ 平常点 (50%) ◎ 出席率 (50%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本知識(前期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	JK1	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	田中 陸	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	この授業では、日本の風習、地理、歴史、文化、政治制度などについて学ぶ。学生は、日本の基礎的な知識を身につけ、自国の文化と比べながら、日本という国への理解を深めていく。授業では、クイズ、ディスカッション、発表などを通じて、参加型の学びを行う。				
到達目標	日本の文化や価値観、生活習慣について説明できるようになる 日本の地理的・歴史的な背景について基本的な理解を深める 他国との違いに気づき、多文化を尊重する視点を持つ 日本での生活や学びに役立つ社会的基礎知識を得る				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション／自己紹介／基礎クイズ□	シラバス説明・ミニクイズ・学習目標の共有		
	2	日本の風習①(マナー・価値観)□	国花・国歌の比較ディスカッション		
	3	日本の風習②(年中行事・祝祭日)□	自国の祝日プレゼン		
	4	日本の地理①(地形・気候・災害)□	地理比較ディスカッション		
	5	日本の地理②(都道府県・人口)□	住みたい地域発表		
	6	日本の歴史①(原始～古代)□	世界史と日本の比較		
	7	日本の歴史②(中世～近世)□	動乱期シミュレーション討論		
	8	日本の歴史③(江戸時代)□	商人文化とビジネス考察		
	9	日本の歴史④(明治～昭和初期)□	近代化の評価ディスカッション		
	10	日本の歴史⑤(戦後～経済成長)□	復興理由を探る発表		
	11	現代日本の社会(経済と構造)□	働き方・家族観の変化を議論		
	12	日本の政治①(制度と選挙)□	他国比較による政治の考察		
	13	日本の政治②(戦後～現代)□	現代政治課題の共有と意見交換		
	14	伝統芸能・娯楽□	文化クイズ・実演動画鑑賞		
	15	振り返り	発表型振り返り		
テキスト	加賀博, (2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本知識(後期)			対象学科	ビジネスキャリア学科
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	JK2	必修/選択	必修	単位	4
教員氏名	田中 陸	授業方式	講義	時間数	60
授業概要	後期では、現代日本社会の構造や課題(教育・労働・社会問題など)について学ぶ。また、メディア、若者文化、ビジネスマナーなど、実際の生活や就職に役立つ内容も取り上げる。学んだ知識を自分の言葉で表現する力を育てることも目指す。				
到達目標	現代日本の社会構造や課題について、自国と比較しながら理解する 日本の教育・労働・生活制度についての基本的な知識を身につける メディアや文化を通じて、現代の日本人の考え方や価値観を知る 日本での就職・進学・生活に備えて、実践的な準備をする				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	日本語の表現と文化的背景①□	敬語の意味・使い方のワーク		
	2	日本語の表現と文化的背景②□	曖昧表現・空気を読む文化		
	3	日本の教育制度①(学校システム)□	母国の教育との比較発表		
	4	日本の教育制度②(入試と進学)□	日本での進学の準備共有		
	5	日本の働き方①(雇用制度)□	終身雇用と転職文化を考える		
	6	日本の働き方②(就職活動)□	就活体験談・面接ロールプレイ		
	7	日本の社会問題①(少子高齢化)□	社会課題を解決するには？		
	8	日本の社会問題②(移民・多文化共生)□	共生社会に必要なことを考える		
	9	日本の生活①(住宅・交通)□	生活費・住宅環境の比較		
	10	日本の生活②(医療・年金制度)	医療体験談・制度理解ワーク		
	11	日本のメディアと情報リテラシー□	偽情報とSNS、ニュースの見方		
	12	日本の若者文化・トレンド	アニメ、ファッション、流行語など紹介		
	13	日本のビジネスマナー□	名刺交換・会議マナー実演		
	14	日本で働く・暮らす準備□	留学生の成功例インタビュー紹介		
	15	発表・総まとめ	ポスター発表型まとめ		
テキスト	加賀博, (2024).『日本総合基礎知識 ～日本の産業、地理、文化～』生産性労働情報センター.				
参考書					
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ホームルーム／進路指導(1年前期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	HC1	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	担任教員	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	本授業では、専門学校での学びの意義や将来の進路を意識した生活習慣の形成、自己理解・職業理解の基礎を学ぶ。社会人基礎力の土台となるコミュニケーションや集団行動のあり方にも焦点を当て、キャリア形成の第一歩を踏み出す。				
到達目標	専門学校での学習目的を明確にする 自己分析を通じて興味・関心を可視化できる 職業・進路に対する基本的な視野を広げる 規律ある学校生活・対人関係を形成できる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／学校生活の心構え			
	2	専門学校の学びと社会との接続			
	3	自己理解①:興味・得意なことを見つける			
	4	自己理解②:性格分析と価値観マップ			
	5	クラス内交流とチームワーク演習			
	6	ビジネスマナー入門:あいさつ・身だしなみ			
	7	進路とは何か?大学・専門学校・就職の違い			
	8	社会人の仕事と役割:働くとは何か			
	9	業種・職種の基本理解①(業界全体)			
	10	業種・職種の基本理解②(IT・サービスなど)			
	11	働く人へのインタビュー動画視聴と感想			
	12	コミュニケーション基礎①:聴き方と話し方			
	13	コミュニケーション基礎②:報告・連絡・相談			
	14	目標設定ワーク:1年後の自分を描く			
	15	ふりかえりと学期のまとめ			
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ホームルーム／進路指導(1年前期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	HC2	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	担任教員	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	後期では、前期に続いて「社会を知る」「職業を知る」ことに重点を置き、自分に合った進路を意識した情報収集や選択肢の整理を進める。学内外の進路イベントや説明会なども視野に入れ、将来に向けて実行可能な準備を始めていく。				
到達目標	進路選択に必要な情報を収集・整理できる 自分に合った職種や業界についての理解を深める 簡単な自己PRができるようになる 日常生活において社会人基礎力を意識できるようになる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	進路の考え方と進学・就職の流れ			
	2	自己理解③:キャリアアンカー診断			
	3	業界・企業研究①(分野別)			
	4	業界・企業研究②(希望職種別)			
	5	職業人講話または映像資料によるケーススタディ			
	6	学内外の進路イベント活用方法			
	7	面接とは何か(基礎知識と心構え)			
	8	自己紹介・自己PRの作成①			
	9	自己紹介・自己PRの作成②(グループ共有)			
	10	働く力とは:社会人基礎力とその要素			
	11	時事ニュースを知る(新聞・ニュース活用)			
	12	タイムマネジメントと生活習慣の見直し			
	13	模擬面接準備(質問リストと対策)			
	14	将来計画シートの作成と共有			
	15	振り返りと次学年への目標設定			
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ホームルーム			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	HM	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	担任教員	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	最終学期となる本授業では、これまでに準備した進路に対し、応募・試験・面接を通じた「実行」を支援する。同時に、就職後・進学後に必要な生活設計やマナー、メンタル面の準備についても扱い、円滑な社会移行を目指す。				
到達目標	進路決定に向けた最終的な応募・面接対応ができる 働く／学ぶための実生活準備ができている メンタル面でも社会人・学生生活に備えている 自己管理能力と将来設計の意識を高めている				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	進路決定状況の確認と個別支援計画			
	2	最終提出書類の点検と改善			
	3	模擬面接③:実践的ロールプレイ			
	4	内定後の対応と辞退のマナー			
	5	契約・雇用・入学の基本知識			
	6	金銭管理(生活費・初任給・奨学金など)			
	7	一人暮らし・新生活の基礎知識			
	8	仕事や学業での悩みとの向き合い方			
	9	メンタルヘルスとストレス対策			
	10	ビジネスマナー応用(名刺交換・訪問マナー)			
	11	報・連・相とチーム行動の実践例			
	12	社会人・学生としての自立とは			
	13	将来設計と10年後の自分を考える			
	14	卒業準備と残りの学校生活について			
	15	振り返り・感謝・門出に向けた最終回			
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	就職実務Ⅱ			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	SJ2	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	担任教員	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	この授業では、いよいよ本格的な進路決定・行動に向けた準備を進める。進学・就職のどちらにも対応できるよう、書類作成、自己PR、面接練習、情報検索の技術など、実践的な進路支援を中心に行う。				
到達目標	進路に応じた必要書類(履歴書・志望理由書など)を作成できる 面接に対応できる実践的なスキルを習得する 企業・学校情報を主体的に調べ、比較検討できる 進路決定のプロセスを理解し、自ら行動できる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	2年生としての心構えと進路スケジュール			
	2	進路の絞り込み:希望の再確認			
	3	履歴書・志望理由書の書き方①(基礎)			
	4	履歴書・志望理由書の書き方②(添削)			
	5	模擬面接①:基本質問と受け答え			
	6	模擬面接②:グループ面接形式練習			
	7	就職情報の調べ方(求人票の見方)			
	8	志望先の比較と選び方(進学含む)			
	9	インターンシップの活用と報告書の書き方			
	10	自己分析・他己分析の統合			
	11	エントリーシートとウェブ応募の注意点			
	12	社会で求められるマナーと常識			
	13	電話・メールでのやりとり練習			
	14	進路実現に向けた行動計画作成			
	15	進路準備のまとめと自己評価			
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	基礎体力(前期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	前期
授業コード	BP1	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	加藤 大樹	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	この授業では、学生生活・社会生活を健やかに送るための基礎体力の育成と運動習慣の定着を目的とする。柔軟性・持久力・筋力・敏捷性などの体力要素をバランスよく養いながら、体を動かす楽しさを体験し、自ら健康を維持・向上できる基盤を作る。安全面・マナー・チーム行動も大切にする。				
到達目標	健康と体力の関係を理解できる 自身の体力の現状と課題を把握できる 運動を習慣化し、基礎的な体力を向上させることができる 集団活動における協力やマナーを実践できる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／体力測定(前期)□	柔軟・筋力・持久力のチェック		
	2	ストレッチと柔軟性の基礎□	ベアストレッチ／安全な身体の使い方		
	3	持久力①:ウォーキング□	心拍数の管理と継続的な歩行		
	4	筋力①:自重トレーニング(上半身)□	腕立て伏せ、腹筋など		
	5	筋力②:自重トレーニング(下半身)□	スクワット、ランジなど		
	6	敏捷性①:リズム運動・コーディネーション□	ラダー／ステップ運動		
	7	有酸素運動①:軽いランニング□	フォームとペース配分の確認		
	8	ゲーム形式①:バドミントン(初級)□	サーブとラリーの練習		
	9	チームワーク①:リレー形式の運動□	協力・応援・役割意識を学ぶ		
	10	体幹トレーニング□	バランス系・インナーマッスル強化		
	11	健康生活と運動の関係(座学)□	睡眠・食事と体力の関係を学ぶ		
	12	自分に合った運動習慣のつくり方□	運動日誌の作成・振り返り		
	13	ストレス解消と運動□	軽運動でのリラックス効果の体験		
	14	前期まとめ運動／確認測定□	測定＋自己評価		
	15	成果の振り返りと個別アドバイス□	ワークシート作成／講評・目標設定		
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	基礎体力(後期)			対象学科	共通
開講年度	2025	対象学年	1学年	前/後期	後期
授業コード	BP2	必修/選択	必修	単位	1
教員氏名	加藤 大樹	授業方式	演習	時間数	30
授業概要	後期は、前期で身につけた運動習慣と基礎体力をさらに発展させ、持続的な運動の実践と応用的な体力向上を図る。ペアワークや集団競技を取り入れ、社会性や主体性も高めながら、バランスのとれた健康習慣の確立を目指す。				
到達目標	継続的な運動によって体力向上の効果を実感できる チーム運動やルールを理解し、協調性を持って行動できる 自分の運動習慣を客観的に振り返り、改善案を立てられる 社会人として健康管理への自覚を高められる				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	ガイダンス／体力測定(後期)□	前期との比較／自己評価		
	2	ストレッチ＆呼吸トレーニング□	ストレスコントロールとの関係も解説		
	3	持久力②:ジョギング＋呼吸法□	ペース維持／姿勢と呼吸の整え方		
	4	筋力③:チューブ・道具を使ったトレーニング□	負荷の調整と正しい動作		
	5	有酸素運動②:サーキット形式□	時間内で全身を動かす運動		
	6	チームワーク②:ドッジボール□	戦術とマナー／勝ち負け以外の学び		
	7	集中力と身体の連動□	簡単な球技や反射系ゲーム		
	8	ゲーム形式②:バドミントン応用□	試合形式でのルール理解		
	9	レクリエーションスポーツ(例:フリスビー)□	楽しみながら運動する体験		
	10	自律的運動の設計□	個人ワーク:自分の運動メニュー作成		
	11	健康生活習慣チェック(座学)□	睡眠／栄養／スマホ使用などの影響分析		
	12	他者への運動指導体験□	1分エクササイズを考案・発表		
	13	チーム発表準備□	自分たちで作る「ミニ運動会」準備		
	14	チーム実技発表(ミニ運動会)□	企画・進行・協力体験型		
	15	後期まとめ・体力測定・振り返り□	成果確認と今後の運動計画立案		
テキスト					
参考書					
評価基準	◎ 平常評価(100%)				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネスコミュニケーションⅢ(GCB Ⅱ)			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	BC3	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	平田 真智子	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	人間が社会生活を送る上でコミュニケーションは必要不可欠であり、新卒採用で企業側が求める能力として「コミュニケーション能力」は16年連続でトップに挙げられている。また、コロナ禍においてテレワークも急拡大しており、対面で「聞く」「話す」以外のコミュニケーションがさらに重要になっていくことが考えられる。本講座では、ビジネス社会で必要不可欠なコミュニケーションについて、日本社会の文化についての知識も交えながら情報提供する。自分自身の頭で考え、意見交換し、トレーニングをし、多様性を受け入れながら知見を深めていくことができるような講座をおこなう。				
到達目標	ビジネスコミュニケーションの基礎を踏まえた応用編。BC2の次の段階として、就職活動・実務における諸問題にどのように対応するか、ケーススタディを通し、読解力・問題解決力・仲間とのコミュニケーション力・人前で発言する力を身につける。社会人としてビジネスコミュニケーションを学ぶことで、その先には自身の生涯を見据えた大切なスキルであることを理解することができる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション。自己紹介など。BCはなぜ必要か。目標設定	就職活動・実務での諸問題をケーススタディとして提示し、それを読み、理解し、解決策について個人で考える→グループで話し合い、コンセンサスを取り、代表者が発表する→講師からコメント、妥当解を示し、各ケースの周辺情報の提供をしていく。 自己理解をする時間を多く取り、自身の強みを伸ばし、不足部分を補うポイントを理解し、より社会適応できるように、自身が前向きに自律的に意思決定できるように支援していく。 社会に出た時のことを具体的に思い描くことができるようになり、不安なことを言語化できるようになり、情報提供や支援をしていく。 ビジネスの世界では、仕事のみならず、オフの場合はどういう状況かについても、グループワークにおいて理解を深めていけるようにする。 色々な場面でのコミュニケーションについても理解しながら、地域格差があることも理解してもらうこととする。 このことを加味しながら、毎時間、レポートを書いてその時間内で提出していただき、習熟度を把握していくことにする。		
	2	ビジネスコミュニケーションにおいて、学生と社会人との違い			
	3	コミュニケーションにおける第一印象の大切さ			
	4	コミュニケーションにおける、立ち居振る舞い			
	5	コミュニケーションにおける、敬語の知識			
	6	ビジネスコミュニケーションにおける仕事時の態度			
	7	ビジネスコミュニケーションにおける、情報共有「報告連絡相談」			
	8	ビジネスコミュニケーションにおける、情報共有「伝え方」			
	9	ケーススタディ:コンセンサスゲーム1			
	10	ケーススタディ:コンセンサスゲーム2			
	11	コミュニケーションの重要なストロークを知る			
	12	コミュニケーションの自分の傾向をしる・エゴグラムで自己理解			
	13	ケーススタディ:ストロークのくせ			
	14	ケーススタディ:自己理解、ジョハリの窓			
15	前期のまとめ・理解を深める				
テキスト	羽鳥美有紀, (2021).『日本で働くための本 ~ 就活生から社会人まで』アスク.				
参考書	藤井美音子他, (2025).『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力[改訂版]』国書刊行会. 二瓶康子, (2024).『留学生のためのビジネスマナー ドリルブック』シナノ書籍印刷株式会社. 林千賀; 羽鳥美有紀; 齋藤貢, (2020).『おもてなしの日本語心で伝える接遇コミュニケーション基本編』アスク.				
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	ビジネスマナー			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	BMN	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	平田 真智子	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	マナーとは何かということを確認し、日本の「察する文化」に対応できるビジネスパーソンに不可欠な状況に応じたマナーを身につける。ビジネスコミュニケーションの基礎を踏まえた応用編。 日本人・留学生ともに、異なる文化背景を持つ他者とコミュニケーションをとることに慣れる。多様な価値観を理解し、ダイバーシティの時代を踏まえたコミュニケーションの基本を理解することができる。自身の考えを言語化し、自分の言葉で他者に伝え、他者の意見も受け入れる(受け止める)ことを学ぶ。				
到達目標	BC2の次の段階として、就職活動・実務における諸問題にどのように対応するか、ケーススタディを通し、読解力・問題解決力・仲間とのコミュニケーション力・人前で発言する力を身につける。 社会人としてビジネスマナーを学ぶことで、その先には自身の生涯を見据えた大切なスキルであることを理解することができる。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	来年社会人として一歩踏み出すみなさんへ心構え・夏休みからの目標	日本において、社会人として生きていくために必要な、社会人としてもマナー。また、一般社員として習得しておくべき、マナーについてを理解できるための講義を目標とする。 文化の違いにより、言葉の壁がある中で、ジェスチャーも違う場合、どのように理解していけば良いか、などについても共に学び合う。 その上で、日本での当たり前のしきたりや習慣について、察する文化を理解しつつ、どのように行動すれば良いか、実際のロールプレイにおいて、習得できるように、何度も行ってみる。 ビジネスの世界では、仕事のみならず、オフの場合はどういう状況かについても、グループワークにおいて理解を深めていけるようにする。 公共施設でのマナ、はもちろん、日本の文化によるマナーから外れているものもあるし、地域格差があることも理解してもらうこととする。 このことを加味しながら、毎時間、レポートを書いてその時間内で提出していただき、習熟度を把握していくことにする。		
	2	ビジネスマナー・仕事の優先順位や情報管理			
	3	ビジネスマナーにおける、上下関係や言葉遣い			
	4	ビジネスマナー・電話のマナー			
	5	ビジネスマナー・電話の掛け方受け方			
	6	ビジネスマナー・名刺のマナー			
	7	ビジネスマナー・接客対応			
	8	ビジネスマナー・企業訪問			
	9	異文化コミュニケーション			
	10	ビジネスマナー・冠婚葬祭①			
	11	ビジネスマナー・冠婚葬祭②			
	12	ビジネスマナー・食事のマナー			
	13	ビジネスマナー・公共施設でのマナー			
	14	ビジネスマナー・ハラスメント			
	15	まとめ・理解を深める			
テキスト	羽鳥美有紀, (2021).『日本で働くための本 ~ 就活生から社会人まで』アスク.				
参考書	藤井美音子他, (2025).『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力[改訂版]』国書刊行会. 二瓶康子, (2024).『留学生のためのビジネスマナードリルブック』シナノ書籍印刷株式会社. 林千賀; 羽鳥美有紀; 齋藤貢, (2020).『おもてなしの日本語心で伝える接遇コミュニケーション基本編』アスク.				
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	キャリアデザインと就職方法			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	前期
授業コード	CRD	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	秋山 興	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	キャリアデザインとは、自分の人生そのものをプランニングすることに通じている。その中でも得に重要なのは、自分を知ることだ。心技体という言葉がありますが、心は自分の思い、願い、希望、技は自分の天才、経験、実績、体は自分の命、身体、健康だ。それをよく考えた上で、企業が求めている、挑戦し、自己管理し、失敗から学んで次に活かすことの出来る人材像と自分の希望が合致するかどうかを考える。				
到達目標	自己の能力、価値観を認識した上で、学生生活における目的を明確にし、自己管理方法を知り、将来のキャリア設計を行う。それに基づいて、就職対策計画を立て、実践する。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	オリエンテーション	授業内容について説明。自己紹介を通じて他者に自分を知ってもらうことの練習。		
	2	キャリアとは何か？	勉強する、働く、遊ぶ、生きることの関係について。		
	3	求職活動の概要	就職活動で行うこと。		
	4	自分を知る(その1)	価値観、物事の捉え方は一人一人違う。		
	5	自分を知る(その2)	エントリーシートの書き方。		
	6	SPI対策(その1)	SPIの問題を解く。		
	7	社会を知る、世の中の仕事を知る	世の中にはどのような仕事があるのか？		
	8	働くことと生きること	ワークライフバランス、働き方と働きがい。		
	9	優良企業の見つけ方	自分にとっての「優良」な企業の見つけ方。		
	10	SPI対策(その2)	SPIの問題を解く。		
	11	職場で安心して働くために	コンプライアンス、ハラスメント、心理的安全性。		
	12	面接対策	面接対策。		
	13	自分に適した企業の選び方と就職活動①	これまでの授業を通じて得た結果を基に自分に適した企業を選び、行動する。		
	14	自分に適した企業の選び方と就職活動②	これまでの授業を通じて得た結果を基に自分に適した企業を選び、行動する。		
	15	復習、期末試験対策	これまでの授業で得た成果を自分の言葉で表現する。		
テキスト	加賀博, (2022).『学生生活とファーストキャリア(就職に)重要なキャンパス&ファーストキャリアデザイン』日本生産性本部 生産性労働情報センター.				
参考書	必要があればその都度提示口				
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				

グローバル情報キャリア学院 シラバス

科目名	日本の代表企業と仕事構造			対象学科	情報システム学科
開講年度	2025	対象学年	2学年	前/後期	後期
授業コード	SJP	必修/選択	必修	単位	2
教員氏名	秋山 興	授業方式	講義	時間数	30
授業概要	産業社会の急速なグローバル化の進展により、国内外ともに競争が激化している。業界内の変化も多様化し、新しい業界、業種、企業が想像されている。こうしたグローバル時代における代表企業とその仕事内容について、解説し、就職活動に役立たせる。				
到達目標	業界、業種別の代表企業及び仕事内容を分かりやすく解説し、学生の就職活動に役立たせることを目標とする。				
授業計画	No.	週ごとのテーマ	概要/キーワード		
	1	日本経済を取り巻く変化①	グローバリズムに取り組む企業例		
	2	日本経済を取り巻く変化②	ボーダレス化に取り組む企業例		
	3	日本経済を取り巻く変化③	IT化に取り組む企業例		
	4	日本経済を取り巻く変化④	SDGsに取り組む企業例		
	5	グローバル社会で注目される職種①	システム		
	6	グローバル社会で注目される職種②	金融		
	7	グローバル社会で注目される職種③	小売り		
	8	グローバル社会で注目される職種④	広告		
	9	グローバル社会で注目される職種⑤	マスコミ、サービス		
	10	ビジネス資格①	旅行、ホテル、観光、レジャー		
	11	ビジネス資格②	音楽、アニメ、芸術		
	12	ビジネス資格③	芸能、マスコミ		
	13	ビジネス資格④	ファッション、デザイン、ゲーム、コンピュータ		
	14	ビジネス資格⑤	企業、組織の事務		
	15	復習、期末試験対策			
テキスト	加賀博, (2022).『学生生活とファーストキャリア(就職に)重要なキャンパス&ファーストキャリアデザイン』日本生産性本部 生産性労働情報センター.				
参考書	必要があれば、その都度提示				
評価基準	◎ 期末筆記試験 ◎ 平常評価				